

淀川水系河川整備計画 進捗点検結果(令和7年度)

P 1～ 猪名川

P 7～ 瀬田川・野洲川

P13～ 木津川下流

P18～ 木津川上流

P24～ 淀川本川

P29～ 宇治川

P34～ 桂川

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの人と川とのつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和7年度は、「川に関心を持ってもらう」に関する取り組みとして出前講座を中心に17件、「川にふれてもらう」に関する取り組みとして水生生物調査や体験学習等を11件、「川をともに考える」に関する取り組みとしては防災講座を中心に11件実施しており、川や環境へ興味・関心を持つ機会を設けることができた。参加者からは、「猪名川を大切にしたいと思った」、或いは「防災に役立つ講座だった。」と好評価であり、今後も引き続き人と川をつなぐ取り組みを実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	令和7年度も引き続き、河川協力団体、住民団体、沿川自治体並びに河川レンジャー等と連携した取組を実施している。河川協力団体とヒメボタル生息区域での樹木管理で引き続き連携し実施。樹木管理を連携し実施したことで、良好な生息区域が保全された結果、5月に多数の生息(発光)を確認することが出来た。また、外来植物駆除並びに在来種保全の活動に取り組んでいる河川協力団体と連携、河川レンジャー参加のもと、中学生の外来植物駆除体験活動に対応した。このほか、令和7年12月には、豊中市と河川レンジャー(講師)と連携してマイ・タイムライン作成講座を実施している。 猪名川クリーン作戦は、猪名川クリーン作戦の日として名称変更し、令和6年度より従来の各拠点(18箇所)毎で実施する形に移行した。直轄区間内では、9箇所のうち7箇所で行き続き実施(内1箇所は別日実施)され、参加団体において活動への意義を見出していることがうかがえた。今後も、ゴミ袋の提供、大型ゴミの回収等バックアップしていく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和7年度は、河川レンジャー4人、協力員1人の体制となっている。 河川レンジャー主催の「猪名川いいな」で、猪名川の魅力を表現した「写真」と「絵画」を募集(応募数109点)し、イオンモール伊丹(伊丹市)等5施設での展示・表彰を行いレンジャー活動を発信している。また、小学校からの要請を受け実施する出前授業(水環境学習)のほか、子どもの関心を高めることを目的に、主に親子を対象とした「ヒメボタル観察会」を開催し、227名の参加があった。参加者からは、「身近にホタルが見られる自然があるとは思わなかった」、「猪名川の自然を守りたい」等好評であった。今後も、沿川住民の関心を持ってもらえるように続けていく。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小・中学校からの要望に応じて、猪名川の自然環境についての出前講座等の環境教育を実施しており、令和7年度は7回実施(河川R出前授業等と事務所出前講座を合計)した。子供たちに川での水生生物調査、バクテスト等の体験学習をしてもらうことで、「実験ができて面白かった」や「猪名川についてよく知れた」等好評であった。また、猪名川分科会主催の水環境交流会を開催。体験ブース(8団体、9ブース)と発表5団体のほかパネル展示を行い、多くの子供たちに猪名川の水環境の現状や取り組みに関する情報発信を行った。今後も、これらイベントによる子ども達への環境教育を実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	配信の他、インスタグラム(平成30年度より)、X(令和元年度より)による配信を行っている。スマートフォンの利用も含め、いつでも、どこでも、誰でも手軽に情報を入手しやすい環境づくり等の取り組みを推進していく。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民、住民団体との交流内容	進捗あり	子どもの関心を高めることを目的に、主に親子を対象とした「ヒメボタル観察会」を開催し、227名の参加があった。参加者からは、「身近にホタルが見られる自然があるとは思わなかった」、「猪名川の自然を守りたい」等好評であった。今後も、沿川住民の関心を持ってもらえるように続けていく。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	該当なし	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	河川を安心して利用できるように、占有者にて公園施設の計画的な補修等を行っている。 令和7年度は、猪名川右岸3.4k付近(尼崎市椎堂)の堤内階段に手すり1箇所の設置を行ったことで、堤内地から安全に河川へアプローチできるようにし、利用者の安全性の向上に寄与している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数	進捗あり	まるごとまちごとハザードマップの設置については、平成28年度に必要箇所の全てにおいて設置が完了している。 令和7年度において、川西市:27箇所、伊丹市:5箇所、尼崎市:14箇所、池田市:6箇所の合計52箇所に設置されている。引き続き設置に向けて自治体と調整を進めている。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和7年度は、猪名川・藻川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組方針について、流域タイムラインの実施内容の確認等について参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことによって、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。 今後も引き続き参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会主催の流木ペインティング大会は、ダム湖に流入した流木を有効活用して芸術作品を創作するとともに、会場周辺のゴミを拾って美しい猪名川・知明湖の再生を目指すイベントである(H19年より毎年開催計19回)。令和7年度は、8月25日(日)に一庫ダム管理所にて開催され、参加者は15名であった。 一庫ダム内部見学&説明会は、能勢電鉄山下駅から一庫ダムまでのハイキングの後、ダム見学及び説明会を行うイベントである(H18年より計17回開催)。広報誌やHPによる募集を行っている。令和3.4年度はコロナ禍のため中止したが、令和5年度は8月27日に参加者約150名、令和6年度は12月15日に参加者約129名にて開催。令和7年度は調整がつかず中止となった。 流木ペインティング大会は、廃棄物となる流木を使って芸術作品を作り、利用者からも「きれいな流木はなかなか手に入らないので、普段あまり経験できない体験ができた。」など好評を得ている。今後もダム湖周辺におけるマラソン大会など関係機関と連携し、下流域の住民等とダム施設との関わりを深めるイベントとして実施していく。
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	該当なし	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	16	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所	該当なし	平成20年度より、縦断連続性の回復を目的とした魚道（簡易魚道を含む）の整備を行い、平成26年度に完了した。今後は、魚道の入り口に魚類が確実にアクセスできるような工夫を検討するためのモニタリングを継続していく。
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所	該当なし	礫河原再生実施箇所において、令和3年度までに、北伊丹地区（伊丹市）、桑津橋地区（伊丹市）、猪名川大橋地区（川西市）で累計面積42,900㎡の整備をしたことにより、礫河原再生事業が完了した。令和4年度の完了モニタリングの結果、事業効果の発現が確認されていることから、今後も引き続き監視を行い、事業効果の発現が継続するよう、河原環境の保全・創出を図っていく。
	23			干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積	進捗あり	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	完了	
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理試験を実施している。 ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、土砂還元・弾力的管理試験開始前より個体数は増え、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は令和3年は665匹、令和4年は519匹、令和5年は381匹、令和6年は343匹、令和7年は481匹となっている。
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	毎年開催している「神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会」の分科会メンバーである猪名川流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し、水質浄化を継続して取り組んでいる。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし	
	32		琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環 境	35	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)では、平成15年度から下流河川環境改善のために洪水期への移行操作期間(例年5月)にフラッシュ放流による土砂還元を実施している。 一庫ダム(水資源機構)において土砂動態の実態把握のためのモニタリングとして、貯水池の堆砂調査を継続して実施している。ダム完成後42年の令和7年度時点において、堆砂率は約35.9%となっている。今後の状況によって堆砂除去等を適時検討していく。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	礫河原再生モニタリング調査では、航空写真等を含む定点写真により、礫河原再生施工箇所である北伊丹地区軍行橋(伊丹市)付近の地形変化を把握している。平成21年度及び平成24年度の工事完成後、平成25年度の大規模出水等を受けて自然裸地が拡大した。平成29年度の工事後にも、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨や令和5年5月豪雨など、平均年最大流量規模を超える出水を受け、現在でも自然裸地は維持されている。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	ヒメボタルの生息範囲(利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市))にハリエンジュ(外来植物)が分布している。ハリエンジュ(外来植物)を駆除するにあたり、ヒメボタルへの影響を回避するために環状剥皮による駆除・モニタリングを令和元年度より行っている。令和7年度は引き続き再萌芽の伐採や癒合部の除去を行ったことでハリエンジュの枯死率が約98.6%となり、ほぼ全てのハリエンジュが枯死した事が確認されたためモニタリングを終了する事とした。引き続き未枯死のハリエンジュを対象に再萌芽の伐採等を実施するとともに、既に枯死したハリエンジュの樹木伐採を実施(ヒメボタル生息範囲外)していく。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	沿川自治体、NPO、住民団体、企業等との連携・協働(18団体100名)による水質一斉調査等を実施し、猪名川町環境交流館前から神崎川までの区間(40地点)で水質が「良い」と判定された地点の比率は75%であり、引き続き、流域の広い範囲で良好な水質が保たれていることが確認された。住民・住民団体と連携して活動を行ったことにより、河川環境への関心を流域の住民に広めることができた。今後も引き続き、連携を強化し充実していく。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・藻川河川保全利用委員会」による議論を実施している。 河川環境保全について、令和7年度の委員会において、施設管理者に対して下記等の意見が提言された。 ・チガヤの保全、オカルガヤ・メカルガヤ等の貴重種の保全やシナダレスズメガヤ・セイバンモロコシ等の外来種の駆除などの植生管理の積極的な推進。 ・特定外来種(クビアカツヤカミキリ、セアカゴケグモ)の駆除対策の実施。 ・良好な状態にあるオギ群落についての適正な管理の継続。 ・カヤネズミの生息についての施設利用者への紹介の実施。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和7年度の猪名川愛護セミナーは、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3地点で同時開催し、参加者に水生生物調査、人の感覚による水質調査の体験学習を行った。セミナーを通じて、若手職員が環境分野に関する知識や意識を高めるとともに、地域との連携や実践的な経験を積むことで、人材育成にもつながっている。今後も河川環境に対する知識を習得するために若手職員への積極的な参加を呼びかけていく。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	チガヤ群落は耐侵食性に優れており、治水面・環境面の両面からの効果が期待できることから、令和5年度にチガヤの基本的な生態情報、保全に有用な事例及び猪名川堤防法面のチガヤ群落の分布状況等を整理するとともに、施工業者が実施可能な保全方法を検討し、チガヤ保全の手引き(案)をとりまとめた。なお、堤防法面のチガヤ群落の保全例は知見に乏しいことから、引き続き、今後の工事で実施した成果を踏まえて、チガヤの保全方法の改善を図っていく。
治 水 ・ 防 災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	近年では、猪名川の河川整備が進展しているとともに、内水氾濫が起きるような大規模災害は発生していないため、災害体験者からの災害状況の聞き取りはない。防災意識の啓発については、令和7年度では、マイ・タイムライン作成講習会等を実施しており、今後も引き続き住民の防災意識を高める啓発活動を実施していく。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和7年度内(令和8年2月)の兵庫県域メディア連携協議会では、防災業務への理解を深めていただくために、内外水統合型水害リスクマップの公表や訓練の実施、マイタイムライン講習会などの取組について、情報提供を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和7年度には、一庫大路次川(一庫ダム下流域)の浸水想定区域図を告示した。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	令和7年度では、住民の避難計画「マイ・タイムライン」の普及に向け、マイ・タイムライン作成講習会を、豊中市(庄内コラボセンター)及び尼崎市(園田東生涯学習プラザ大ホール)で開催し、計約40名が参加した。参加者からは「マイタイムラインを実際に作ってみて、理解が深まりました。川の水位を確認できるサイトが知れて良かったです。住んでいる所が浸水区域に入っており、気になって受講しました。気になっている事もお話下さって勉強になりました。」との感想をいただいた。これからもマイタイムラインを普及する講座を重点的に開催していく。
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	「猪名川水防連絡会」では、毎年出水期前に、円滑な水防活動による水害防止または軽減することを目的として、関連機関とともに現地合同点検及び連絡会議を実施している。令和7年度は、合同点検に加え、防災活動拠点と災害対策用機械の現場視察を実施した。今後も引き続き関連機関と連携・協働し、水防災意識の向上を図っていく。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	完了	
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	公共施設の耐水化については、想定最大規模の洪水により、園田出張所が浸水するリスクがあるため、令和6年度に設備関係の浸水対策設計を実施している。今後は、浸水対策を実施していく。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	51	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」にて、令和7年度は、猪名川・藻川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組方針について、流域タイムラインの実施内容の確認等について参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことによって、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和7年度は、流域治水の議論の進捗を図るため、水害リスクを多段階で内外水一体の浸水リスクを表示した水害リスクマップを作成し公表した。また、特定都市河川の指定に向け、猪名川流域市町にヒアリングを行った上で、余野川流域に絞り勉強会と称し具体的な流域治水の議論を始めたところである。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	猪名川では、「島の内水害に強いまちづくりプロジェクト」の主な対策内容である堤防拡築を進めており、令和7年度では、尼崎市東園田地区において、約60mの堤防拡築を実施した。今後も引き続き、島の内地区の水害リスクの軽減を図るため、堤防強化を進めていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗あり	今後も引き続き堤防拡築部での堤防天端舗装を実施していく。令和7年度では、尼崎市東園田地区において、約60mの堤防拡築部で堤防天端舗装を実施した。 令和7年度末時点での進捗率は、堤防延長比率で約60%となっている。
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	猪名川では、上下流バランスの観点から、下流神崎川の事業進捗を踏まえ、上流兵庫県管理区間及び直轄管理区間の整備時期等について、兵庫県・大阪府と調整を図りながら事業を実施している。引き続き、整備効果の把握に努める。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和3年8月に変更した河川整備計画に基づき、上下流バランスに配慮しながら、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる河道掘削に着手し、令和7年度では、尼崎市東園田地区及び豊中市今在家地区において、約13,400㎡の河道掘削を実施した。 令和7年度末時点での河道掘削の進捗率は、約5%となっている。
	58	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策（砂防堰堤、山腹工）の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の有効活用	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	令和7年度においては、洪水調節を実施する規模の出水が発生しなかったため、洪水調節の実績はなかった。また、事前放流についても実施機会はなかった。 一方で、水位運用高度化（試行）の取り組みとして、洪水調節容量の一部に流水を貯留し、洪水貯留準備水位を上回る水位で管理する運用を行い、河川環境の改善および水力発電量の増加に寄与した。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	猪名川では管内の樋門3基及び排水機場1基が耐震対策の対象となっている。対策については、指針の改定等の対応のための再調査及び対策設計を令和4年度から行っており、直轄3樋門で耐震性能が満足していない結果となったことから、令和5年度に、耐震性能を満足しない部位について、耐震補強工の詳細設計が完了している。一部、神田排水樋門（堤内側）のみ上屋の詳細設計が未実施であるが、神田川排水機場の更新にあわせて調整中である。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	完了	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	完了	
	67			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。慣行水利権については、1件、廃止に向けた調整を進めている（池田井堰）。令和7年度の水利権許可の実績はなし。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表している。渇水調整中は、節水意識向上を図る趣旨のSNS広報を行っている。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
利 水	70	環境に配慮した効率的な水利用の促進	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理を実施している。 令和7年度は、弾力的管理を含む一庫ダム水位運用高度化操作試行要領に基づき、活用貯留水を用いて畦野水位観測所地点における必要量を概ね確保したものの、フラッシュ放流(4回計画、0回実施)は実施できなかった。 ※フラッシュ放流中止理由：出水による中止(2回)、活用貯留水の事前放流(6/22-23)後に活用貯留水を確保出来なかったことによる中止(2回) ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、土砂還元・弾力的管理試験開始前より個体数は増え、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は令和3年は665匹、令和4年は519匹、令和5年は381匹、令和6年は343匹、令和7年は481匹となっている。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期(渇水調整前の自主的な制限(「自主節水」))について行動計画を作成した。 令和7年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した(令和7年度は渇水調整なし)。 また、令和6年度からは、自主節水期間及び渇水調整期間を除く期間において、水道事業者間の合意に基づく必要水量に応じた放流量とする運用(「自主調整」)を開始。令和6年度において取水制限期間の圧縮効果が認められた。
利 用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	不法係留施設は管内に1箇所確認しており、所有者に対しては正指導中である。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容	進捗あり	安全利用点検の結果について、補修が必要な箇所は確認されなかった。 令和7年度は、水難事故はなく、河川愛護セミナーや出前講座などのイベントを通じた啓発により、水難事故防止意識の向上に寄与しているものと考えている。今後も安全利用点検やイベント等を通じた河川利用の啓発活動が続けていく。なお、事務所が関与する子どもを対象とするイベントにおいては、必ず救命胴衣を用意するとともに着用方法を教授している。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小学生を対象に愛護セミナーを開催し、猪名川の水生生物調査等を通じて、水質管理や河川環境の保全・再生への取り組みを行った。令和7年度はこんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所を実施し、計398名(前年311名)の参加があった。 また、アユの産卵時期の11月3日に中園橋上流(尼崎市)付近において、一般住民を対象に産卵場を作る体験イベントを開催し、令和7年度は48名の参加があった。イベントの参加者からは「アユについて体験しながら学べました」等の感想を頂いた。今後も河川でしか出来ない河川環境を利用した環境学習の提供を継続的に実施していく。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取組内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・藻川河川保全利用委員会」による議論を実施している。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	不法工作物設置に対しては、従来より禁止警告看板の設置や正指導を行っている。令和7年度では、阪神高速道路猪名川第1橋梁下付近において、不法耕作等の違法行為が認められたため、禁止警告看板の設置や指導等を行い是正に至った。今後も河川区域等における河川巡視を行い、不法耕作等には継続的な指導を実施していく。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	該当なし	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴミの持ち帰り、火気使用やゴルフ練習等の禁止など、利用上のルールを定め看板で明示している。従来から多く見られるバーベキュー利用後のゴミの放置などの迷惑行為に対して、令和7年度には呉服橋から阪神高速道路猪名川第1橋梁付近までを重点的にゴミ持ち帰りのマナーを呼びかける看板の設置や啓発活動を行っており、今後も引き続き迷惑行為防止に努めていく。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	管内のホームレスの個別訪問を月1回以上実施し、更に、自治体福祉部局と連携して個別訪問を実施している。令和7年度現在、名神高速猪名川橋上流(伊丹市)、善法寺歩道橋下(尼崎市)で各1人のホームレスが河川敷にて起居していることを確認している。平成29年度より確認数は2名となっており、平成14年度及び平成19年度からの起居者である。今後も引き続き自治体福祉部局と連携し、退去指導を行っていく。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
維持 管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和7年度は、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検と評価を実施し、予防保全段階が4箇所、措置段階が0箇所となっている。令和6年度に措置段階となっていた1箇所を対応済みである。堤防等の河川管理施設は定期点検時や河川巡視時に状態を把握し、優先度を踏まえて順次補修等を行っている。今後もアセットマネジメントの視点に立って、適切な河川管理施設の機能維持のための巡視、点検・評価、補修を実施していく。 令和7年度に一庫ダムにおいて、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているか等を検査するダム定期検査(3年毎)が実施され、全体的に問題のないことが確認されている。次回の定期検査は、令和10年度の予定。
	85		ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)は令和7年度で完成後42年が経過しており、計画堆砂量2,500千㎡のうち、令和7年度末で堆砂量は約898千㎡、堆砂率は約35.9%であり、堆砂量や堆砂の進行速度は概ね計画通りである。平成30年度の堆砂量の増加要因は、7月豪雨による影響が大きいと推測する。平成15年度から測定方法をマルチビームに変更して、測量精度の向上を図っており、平成29年度以降も継続して実施している。今後も堆砂量の継続的な監視を行うとともに、今後の状況によって、堆砂除去等を適宜検討していく。	
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を行い、その結果は河川管理者に報告された。点検数は、令和7年度に149件で、要補修箇所はなかった。
	87	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和7年度は、川の流れを阻害するものや、河川管理上の支障になる樹木について、河川環境に配慮しながら、1箇所約2.8万㎡の樹木伐採を実施した。伐採した樹木の幹については、一般の方に配布することで、コスト縮減を図っている。一般の方には、ホームページ、インスタグラム等にて、無料配布を呼びかけ194m ³ の無料配布を実施した。令和2年度から令和7年度の伐採の進捗率は計画の約38%となっている。	
	88		堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	猪名川の下流から順次河道掘削を実施している。令和7年度末時点での河道掘削の進捗率は、約5%となっている。	
	89		ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間におけるゴミの不法投棄については、事務所ホームページ上で不法投棄禁止の啓発を行うとともに、投棄箇所に警告のため看板設置や、ホームレスの出すゴミに対して指導を実施した。 猪名川の直轄河川管理区間における不法投棄について、令和7年度は約44.9㎡の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。	

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	野洲川の住民団体、住民に対しては、清掃、河川の生き物、親水体験イベントを通じて河川の実環境保全や、マナー向上意識の推進に寄与する活動に取り組んでいる。瀬田川においては、小学生とその親に対して瀬田川の自然と生き物、水防災、河川管理に関する講座を開催し、河川への関心度、意識向上に寄与する活動に取り組んでいる。 瀬田川水辺協議会にて「瀬田川にゴミが多い、沿川のみんなで清掃を。」との提言のもと、平成19年度より沿川住民、河川利用者等と協力し瀬田川一斉清掃を実施しており、この地域の10月第四日曜日の恒例行事として定着している。 令和7年度も実施予定であったが当日雨天により中止となった。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 併せて沿川住民、漁業組合等の河川利用者と協力し瀬田川クリーン作戦を実施している。令和7年度は4回実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 令和7年度は地域住民や学校参加型の水生生物調査を2回開催し、川に直接触れていただく機会を提供した。また、野洲川河口部のヨシ帯では、5月に立命館守山中学校のサイテック部と協力し魚類のデータを収集した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	河川協力団体であるウォーターステーション琵琶の会と連携し、川や琵琶湖に親しむことを目的に、水辺に親しむ体験型イベント「水辺の匠」を毎年開催し、治水、防災や河川環境をより身近に感じてもらうことができている。令和7年度は11月に1回開催した。治水、防災及び環境教育の推進に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和7年度は4名の河川レンジャーが在籍となっている。河川レンジャー制度運営委員会においてとりまとめた「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」に基づき、一般公募により選ばれた河川レンジャーが河川清掃活動などを通じて住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を行う体系が確立できている。令和7年度は計32回の活動実施。河川環境意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和7年度は7月に瀬田川で地元住民と、8月に野洲川で地元中学生と行った。「瀬田川が思っていたよりもきれいなことがわかった。いろんな虫が採れて面白かった。指標生物以外の生きものについても詳しく知りたくなった。」などの感想があった。環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和7年度も、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。生徒たちからは「様々な生き物を見ることができ、とても楽しかった。左右岸で在来種と外来種の分布の偏りやヨシの量の違いがわかって興味深かった。水や川の危険性を実感することができた。」という感想があった。環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 また、南郷小学校で防災出前講座を1回行った。 大戸川ダム工事事務所では、大津市田上地区を中心に活動する「TANAKAMIこども環境クラブ」の子ども達と一緒に水生生物調査を実施している。令和7年度は8月に水生生物調査とカワガラスの営巣調査を実施し、地域住民と大戸川との関わりを促進した。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	事務所ホームページで水系において関心の高い、琵琶湖の水位や瀬田川洗堰の放流量に関する日々の情報を更新し掲載するとともに、事務所の取り組みに関する活動報告や記者発表の内容について、適宜、掲載し情報発信している。よりユーザーにとって使いやすくなるよう、令和6年度にホームページを更新している。 水のめぐみ館「アクア琵琶」や大学等において、令和7年度に旧瀬田川洗堰が120周年を迎えたことから、パネル展示等によりインフラづくりの歴史・役割・効果を発信した。 令和2年度より毎日、事務所X(旧Twitter)で琵琶湖水位・瀬田川洗堰放流量などを発信している。 河川レンジャーによる活動を広報することを目的にレンジャーレポートを作成している。令和7年度は3回レポートを発刊した。 大戸川ダム工事事務所では、令和5年度から事業全体の進捗状況などをお知らせする広報誌「大戸川ダムだより」を毎月発行している。 令和7年度は、事務所の取組に加え、地域イベントの紹介や防災啓発に関する紙面を充実させるとともに、事務所ホームページやXでの情報発信、地域住民等への配布を実施した。また、配布先を拡大したことで、地域住民の関心が高まり、好評の声が寄せられている。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域の方々との連携交流施設「ウォーターステーション琵琶」と、広報施設「アクア琵琶」を会場として、例年『水辺の匠』を開催している。ウォーターステーション琵琶を利用している活動団体の方々や連携しながら、琵琶湖の治水、防災や環境などの情報発信を行っている。令和7年度は11月に開催し、のべ約500名が参加した。河川や琵琶湖への関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 毎年3月頃に、守山市主催で『野洲川健康ファミリーマラソン大会』が開催されており、令和7年度は参加者を対象としたAR技術による浸水体験で流域治水の普及・推進や水害リスクの自分事化を推進したほか、瀬田川・野洲川の堤防除草で発生した刈草で作成した堆肥の配布、野洲川の歴史や樹木管理等の維持管理に関する取組をパネル展示によりPRLした。 例年、6月末から7月上旬に、野洲川において守山市主催の『野洲川冒険大会』(いかだ下り大会)が開催されており、参加者及び関係者を対象にしたパネル展示や刈草から作った堆肥の配布及び有志による「いかだ下り参加」を行っている。 令和7年度は7月に開催され、野洲川の事業、刈草から作った堆肥の配布、旧瀬田川洗堰を模したいかだ作成によって事業をPRLした。 令和6年5月より広報施設「アクア琵琶」に大戸川ダムの特集コーナーを開設し、動画やパネルにより事業の紹介を行っている。また、より多くの方に関心を持ってもらうための取組として、令和7年1月より大戸川ダムのダムカードの一般配布を開始し、令和7年度に2284枚のダムカードを配布した。 大戸川ダム周辺整備やダムを契機とした地域活性化等の検討にあたり、社会実験として「大戸川ダムフェス2025」を関係機関と共催した。ダム上下流や周辺地域の住民など約700名の参加者が訪れ、ダムを契機とした地域活性化の可能性を確認した。また、地域主催のイベントに参加し、防災啓発活動を行いながら支援を実施した。
	7	小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	小径(散策路)の整備内容・箇所数	完了	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和7年度は6月に堤防の安全利用点検を実施した。瀬田川では右岸70.0k付近の散策路上に生えている切り株の撤去、野洲川では左岸7.0k付近の樹木伐採を行い、地域の方々が利用しやすいよう整備を実施した。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	

瀬田川・野洲川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
人と川とのつながり	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	令和4年度に野洲川、瀬田川の多段階浸水想定図・水害リスクマップを作成・公表した。アクア琵琶2階にて、野洲川の浸水想定区域についてタッチパネルで表示する広報を行っている。令和7年度の野洲市民マラソンでは、市街地の浸水状況についてAR体験できるブースを出店した。体験者からは「泥水だと少しの水で足元が見えず、木も流れてきて危ない。今日の体験は楽しかったけど、本当の水害は怖い。」と水害時の避難への関心が高まった旨の感想があった。 令和7年度に野洲川、瀬田川の内外水統合型水害リスクマップを作成・公表した。 大戸川ダム工事事務所では、「大戸川ダムフェス2025」において、CIMモデルを用いて大戸川ダムの構造を示したり、建設後の洪水調節のイメージをARで表現することで、周辺住民をはじめとする来場者の治水への理解が深まった。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	淀川流域治水協議会（琵琶湖分会）を令和7年度に1回開催した。流域治水プロジェクト2. 0の拡充、プロジェクトの進捗状況等について情報共有した。 令和7年度に、瀬田川地域安全協議会を1回、野洲川地域安全協議会を1回開催した。流域タイムライン講習会の実施状況、アクア琵琶での啓発活動等について情報共有した。 滋賀県主催の大規模氾濫減災協議会（湖北圏域、湖東圏域、東近江圏域、高島地域）に4回出席した。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域（湛水区間）、下流域（流水区間）〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域（盆地～源流部）木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして参画しており、令和7年度において2回の情報共有、意見交換が行われた。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和7年度は滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、特定外来生物の駆除、藻刈りを行う瀬田川流域クリーン作戦を4回実施した（瀬田川一斉清掃は雨天中止）。特定外来生物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 令和7年度は、令和6年度に瀬田川唐橋公園付近に設置した、特定外来生物の繁茂抑制のための遮光シートのモニタリングを行い、遮光シートで覆われている部分は特定外来生物が繁茂していないことが確認できた。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸（延長450m）において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘々され、地域の方々が憩える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。 令和7年度は瀬田川右岸70.1k散策路付近の枯木を伐採し、地域の方々が利用しやすいよう整備を実施した。 また、瀬田川整備検討委員会（令和7年3月）の結果を踏まえ、鹿跳溪谷の景観への配慮に関するモニタリング計画を作成した。
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	不法投棄警告看板をこれまでに66箇所設置している。令和7年度は19.6㎡（瀬田川6㎡、野洲川13.6㎡）の不法投棄ゴミを回収・処理した。
	21	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22			ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）〕	進捗あり	瀬・淵再生事業として、令和7年度は第Ⅱ期区間の低水路掘削等に着手した。河道の二極化の解消、瀬・淵や礫河原の再生を目的としている。あわせてアユが産卵・生育できる川づくりを目指し、地域連携によるアユ産卵床造成を実施した。令和6年度までに水制工整備が完了した第Ⅰ期区間については引き続きモニタリング調査を実施していく。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川〕	進捗あり	野洲川河口部のヨシ帯について、基盤整備等を行った結果、令和6年度までにヨシ帯の面積が1.8ha増加した。また、令和7年度は良好なヨシの保全とヨシ帯面積の拡大を目指し、住民と連携してヨシ刈りを行った。今後もヨシ帯再生エリアのモニタリング調査・地域連携を継続して実施していく。
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	野洲川落差工について、河川連続性の観点での改良は完了している。河川利用者の安全等のために落差工直下の河床状況等を継続監視している。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	洪水期前において、降雨による水位上昇後に急激な水位低下を抑制する瀬田川洗堰の環境に配慮した試行操作を継続して実施している。
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	琵琶湖の水位低下を抑制するため、琵琶湖からの下流用水補給において、瀬田川洗堰の放流量を1㎡/s単位で調節するきめ細やかな操作を継続して実施している。
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
					進捗あり	瀬田川洗堰で放流量を調節することにより、琵琶湖周辺の洪水防御、淀川の洪水流量の低減、琵琶湖の水位維持、淀川の流水の正常な機能の維持並びに水道用水及び工業用水の供給を行っている。
環境	29	川本来のダイナミズムの再生	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	令和7年度は、琵琶湖、瀬田川、野洲川の24地点において、月1回の頻度で水質調査を実施し、調査結果等を滋賀県、水資源機構と情報共有を図った。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして参画しており、令和7年度は2回の情報共有、意見交換が行われた。
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 令和7年度は、前年度と比較して塩化物イオンの値が北湖・南湖・瀬田川ともに高い傾向にあった。また、過年度と比較してDOの値が南湖で高い傾向であった。
	33		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	河川における水質調査を瀬田川、野洲川で各1地点継続して実施し、水質監視を行っている。また、淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図っている。 令和7年度は2件の水質事故に対応した。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和7年度は、瀬田川整備検討委員会(令和7年3月)の結果を踏まえ、鹿跳溪谷の掘削にあたり瀬田川の土砂動態が変わることで流下能力・環境・景観に大きな影響を与える恐れがあることから、河床変動解析や河道縦横断面測量を含めたモニタリング計画を作成した。
	36		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	完了	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	野洲川河口部では、横断方向の連続性やヨシ帯を回復し、かつての自然環境を取り戻す自然再生事業を実施している。事業による河川環境の変化を把握するため、ヨシ帯の再生状況や再生したヨシ帯へのコイ科魚類等の産卵状況のモニタリング調査を継続して実施している。また、河川レンジャーのコーディネートのもと、地元中学生等とモニタリング調査を実施するなど学習フィールドとして活用されている。 野洲川上流部において水制工を設置し、滞筋を蛇行させ瀬・淵を再生し、礫河原の復元を図り、アユ等の生息環境やカワラハハコ等在来植物の生育環境の創出に向けた自然再生事業を進めている。河床の変動予測と現地でのモニタリング結果を踏まえ、学識者の助言も得て、段階的な施工により、水制工の配置や形状を適宜、見直しながら順応的に進めた。令和6年度までに水制工5基の整備を完了し、令和7年度よりモニタリングを実施している。これまでに、瀬・淵の形成、更新、及びビワマスの産卵場が確認できた。 大戸川ダム工事事務所では、大戸川ダム建設に伴う環境影響の予測・評価結果をとりまとめた「大戸川ダム環境調査結果報告書」を令和7年4月に公表した。 令和7年度は、新たな工事の実施にあたり、水質モニタリングや猛禽類(ハヤブサ・ハチクマ・サンバ)の生息・繁殖状況調査を実施するとともに、必要に応じて専門家の助言を得ながら進めた。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	令和7年度は、野洲川において瀬・淵再生工事実施にあたり、既存たまりの生物調査を行って保全の必要性を確認し、生息する魚類等を避難させたうえで、工事を実施した。 令和7年度は、瀬田川整備検討委員会(令和7年3月)の結果を踏まえ、環境影響を把握するため、生息環境が大きく変化すると予測されている魚類及び底生生物の注目種を対象としたモニタリング計画を作成した。 大戸川ダム建設事業では、工事による改変前の希少植物の移植や、伐採範囲の最小化、工事中の振動や騒音等を最小限に抑える施工機器の使用、段階的な施工(コンディショニング)などにより、生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和7年度は2件の水質事故に対応した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和7年度は、「野洲川中洲親水公園(守山市)」、「野洲川ふれあい広場(守山市、野洲市)」について、河川保全利用委員会での審議結果を踏まえ更新許可を行った。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	平成24年度から人材育成として立命館守山中学校と職員で環境教育を継続して行っており、令和7年度は5月に実施した。また、令和7年度は野洲川河口部ヨシ帯のヨシ刈りに職員が参加することで環境保全、自然再生の学習の場となった。これらの取組を通じて、若手職員が環境分野に関する知識や意識を高めるとともに、地域との連携や実践的な経験を積むことで、人材育成にもつながっている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 令和7年度は、前年度と比較して塩化物イオンの値が北湖・南湖・瀬田川ともに高い傾向にあった。また、過年度と比較してDOの値が南湖で高い傾向であった。

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	地域安全協議会では、令和元年度から防災教育の促進に向けて協議会とモデル校が連携し、防災教育に関する指導計画(案)等の作成を支援した。作成した指導計画(案)等は、協議会に関連する全ての市と共有することで防災意識の啓発を図り防災力の向上に取り組んでいく。 令和8年1月24日に湖南市役所で地域の方々を対象とした、しが・マイタイムラインの作成体験を実施した。「初めてマイ・タイムラインを作成し、とても勉強になった。今後も続けて欲しい。風水害時と地震時での避難場所の違いについて今まで意識したことがなかった。」などの感想をいただいた。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和7年5月13日に洪水対応演習、ホットラインによる情報伝達訓練を実施した。 メディア連携協議会では、防災業務への理解を深めていただくために合同見学会を2回開催し、計36名以上のメディア・行政関係者が参加した。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和7年度に、瀬田川地域安全協議会を1回、野洲川地域安全協議会を1回開催し、既に作成済みである沿川市のハザードマップについてフォローアップを実施した。 令和7年度は災害対応時の作業を正確に行うため、彦根地方気象台と洪水予報発出に関する情報伝達訓練を6回行った。
	46			災害対応プログラムの作成内容	進捗あり	令和7年度に瀬田川及び野洲川の沿川市と、流域タイムラインを作成、有事に備えたタイムラインの共有を図った。 今後も、関係機関(流域の県、市、気象台)との連携を促進していく。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	令和7年6月2日と6月11日に瀬田川・野洲川の重要水防箇所の現地共同点検を実施した。 令和7年度には滋賀県建設業協会に対し、排水ポンプ車、照明車について説明会を実施した。建設業協会との災害協定に基づく協力要請を行った場合に備え、災害対策用機械について理解して頂き、迅速な復旧活動を行うこと目的に今後も継続して取り組んでいく。 毎年、樋門等操作委嘱している瀬田川・野洲川地元操作員に対し、通常操作に加え緊急時操作や避難について説明および訓練を実施しており、令和7年度は瀬田川では5月26日、野洲川では5月29日に実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	災害時には、緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となり、平常時には地域の活性化や賑わいを創出する「MIZBEステーション整備計画」、河川空間とまち空間が融合した新たな河川空間を活用した地域の賑わいを創出する「かわまちづくり計画」の両計画が令和6年8月に登録された。「滋賀県立高等専門学校」の整備が隣接地で進められており、令和10年の開校に合わせて国・県・市で連携し、地域の防災力強化と多くの人々が交流・活動・学習できる賑わいの核の整備を進めている。 令和7年度はこのMIZBEステーション整備計画に基づき、基盤整備に着手した。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	滋賀県が下水道施設の耐水化計画の検討するため、令和4年度に洪水浸水想定区域図の解析データを提供し、耐水化検討の支援を行った。滋賀県においては、作成した耐水化計画に基づき順次下水道施設の耐水化を行っている。引き続き支援を実施していく。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	野洲市が野洲駅周辺の内水被害の軽減に向けて、技術的支援を行っている。令和7年度は妓王井川上流部における雨水貯留施設の導入に関する検討について1回打ち合わせを行った。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	進捗あり	淀川流域治水協議会において流域治水プロジェクト2.0の拡充、プロジェクトの進捗状況等について情報共有している。 令和7年度は新たな取組として流域治水についての広報用パンフレット作成、台風・大雨時における担当者ホットライン(18市町)による防災対応支援について報告した。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	完了	瀬田川では、整備計画対策必要延長1.8km(進捗率100%)の整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 野洲川では、整備計画対策必要延長5.7km(進捗率100%)の整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	瀬田川上流では、琵琶湖の後期放流に対応した1500m ³ /sの河道掘削が令和3年度で完了した。下流の鹿跳溪谷については、景観、自然環境の保全や親水性の確保などに配慮した河川整備を検討するため、有識者で構成する「瀬田川整備検討委員会」を設置し、対策方法を議論している。令和7年3月の瀬田川整備検討委員会の結果、67.6k～68.0kまでの区間を先行して掘削し流下能力のモニタリングを行うことで、鹿跳溪谷区間の掘削後の流下能力の精度を高め、残りの掘削計画を決定することになった。令和7年度は、工事用道路の設置を行い、河道掘削、樹木伐採等に着手している。 整備計画の変更に伴い、大戸川ダム本体着手に向けた調査・設計とあわせ、ダム事業実施による環境への影響を検討するための調査等を継続している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	完了	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	完了	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	完了	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、近年は令和3年度に水利権許可の実績が2件あった。令和7年度は実績無し。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	各種イベントでのパネル展示などを継続し、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。令和7年度は見直し実績無し。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗なし	令和7年度において、琵琶湖水位低下に伴い本局に渇水対策本部、事務所に渇水対策支部を設置したが、渇水対策会議等を実施するまでには至らなかった。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗なし	令和5年度に第一疎水の観光船の、びわ湖大津港までの延伸のため、第一疎水の閘門において、通過船舶の指定の変更を行った。令和7年度は船舶の指定変更等の該当なし。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	引き続き、河川巡視や河川愛護モニターによる報告内容に基づき、ゴミの除去や利用者への注意喚起等を行っていく。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	令和7年度は6月4日に瀬田川管内、6月6日に野洲川管内にて安全利用点検を実施した。 立入禁止区域としている野洲川落差工については、沿川の幼稚園・小学校等に水難事故啓発チラシを配布するとともに、夏季の特別巡視を行い、水難事故の発生防止に努めている。令和7年度中の水難事故は発生していない。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和7年度においても、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。生徒たちからは「様々な生き物を見ることができ、とても楽しかった。左右岸で在来種と外来種の分布の偏りやヨシの量の違いがわかって興味深かった。水や川の危険性を実感することができた。」という感想があった。環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 また、毎年、水生生物調査を小中学生対象に瀬田川及び野洲川で実施している。令和7年度は7月に瀬田川で地元住民と、8月に野洲川で地元中学生と行った。「瀬田川が思っていたよりもきれいなことがわかった。いろんな虫が採れて面白かった。指標生物以外の生きものについても詳しく知りたくなった。」などの感想があった。環境保全意識の向上に寄与していることから、こちらも引き続き実施していく。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	令和7年度は、「野洲川中洲親水公園(守山市)」、「野洲川ふれあい広場(守山市、野洲市)」について、河川保全利用委員会での審議結果を踏まえ更新許可を行った。
	77			違法行為の是正内容	進捗なし	野洲川堤外民地の県管理時代からの住居等について、拡大防止に努めつつ、まずは境界確定から取り組んでいるが、現時点で境界不調のままである。瀬田川の県管理時代からの住居付属物の不法占用については、機会を捉えて是正指導を図るべく、状況を注視を続けている。令和7年度には是正状況に進捗はなかったが、今後、境界確定に向けて自治体と連携し是正を進めていく。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	野洲市MIZBEステーションかわまちづくり計画について、国・県・市が連携し事業化に向け調整を図った結果、令和6年6月に登録申請が行われ、令和6年8月に計画登録された。令和7年度は河川管理施設としての坂路・階段工を実施した。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗あり	歩行者等が河川に沿って容易に移動でき、安全に水辺に近づけるよう、小径(散策路)の整備を継続して実施した。令和7年度は瀬田川右岸70.1k散策路付近の桜枯木の伐採を実施した。

瀬田川・野洲川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
利用	80	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	河川巡視により、令和7年度においては不法投棄等の違法行為が298件見受けられた。不法投棄については、多発箇所への看板設置等の対策を検討していく。引き続き不法投棄の未然防止を図っていく。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	栗東市伊勢落地先にて、違法焼却ゴミ跡を確認しており、毎月状況をモニタリングしている。 令和7年度もホームレス等は確認されていない。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	地域協議会において平成18年度にとりまとめられた「瀬田川のあるべき姿」に基づき、水辺利用、景観、植生維持などを踏まえながら地域住民と共に維持管理を実施している。令和7年度は、「瀬田川のあるべき姿」の提言に基づき老朽化した河川標識の取り替えについて検討を実施した。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	野洲市MIZBEステーションかわまちづくりは、「河川空間」と「まち空間」が融合した地域の賑わいを創出する場として整備できるよう、関係機関と事業化に向けた調整を図った結果、令和6年6月に登録申請が行われ、令和6年8月に計画登録された。令和7年度はMIZBEステーション整備計画に基づき、基盤整備に着手した。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を毎年行い、令和7年度の点検結果は、予防保全段階が5箇所、措置段階が0箇所であった。予防保全箇所について、順次対応を行っていく。 大戸川においては、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を毎年行い、令和7年度の点検結果は、予防保全段階、措置段階ともに0箇所であった。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。要補修箇所が無いことを確認。令和7年度は、167箇所の施設を点検し、要補修箇所は0箇所だった。 大戸川においては、「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。令和7年度は、17箇所の工作物を点検し、要補修箇所は0箇所であった。
	87			河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	野洲川においては令和元年度～令和4年度にかけて、442.2千㎡伐採した。これによって、流下能力が向上するとともに、対岸までの見通しが確保でき、河道内の状況を把握できるようになった。令和4年度～令和7年度にかけては、1,455千㎡の幼木踏み倒しを実施し、コスト縮減を図っている。
	88		河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	放水路事業により確保した流下能力を維持するため、令和4年度に、野洲川幸津川地区において、河道内堆積土砂の除去を実施した（約3.8万㎡）。また、瀬田川太子地区において河道内堆積土砂の除去を実施した（約2.6万㎡）。令和7年度は管理上支障となる堆積土砂がなかったものの、引き続き、必要な区間の堆積土砂を撤去していくとともに、堆積状況等のモニタリングを継続していく。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	警告看板設置やゴミマップのホームページへの掲載により、不法投棄の啓発活動を行っており、今後も引き続き、ゴミの不法投棄対策を進めていく。また、不法投棄ゴミについては、令和7年度に19.6㎡（瀬田川16.0m3、野洲川13.6m3）のゴミを回収処理した。

木津川下流進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	小学校の出前授業で生きもの調査の取り組みが定着し、高校での授業・クラブ活動も複数回実施、地域の河川と自然環境の魅力を理解し総合的に伝えられる人材を育成した。 参加者からは「身近な川にこんなにいきものがいるなんて知らなかった」「川に入るには、服装や持ち物をしっかり準備していたら楽しめると思った」「(捕った魚を)水槽で横から見たら、すごくかわいくて大切だと思った」「生きものも探せて、ゴミも拾って、きれいになって良かった」「増水すると聞いて怖くなったけど、知れて良かった」などの意見があった。 三川合流拠点のさくらであい館を拠点として活用し、三川マルシェの開催や、自然環境にふれ合える水辺の生き物探検隊や、野草教室でのよしぶえ作りを行い、地域の方たちに自然と歴史文化に触れ、体験できるワークショップを実施した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	河川レンジャーでは、延べ83団体(市民団体39、行政関係20、学校関係24)と連携して活動を行った。淀川水系一斉美化アクションの一環として、地域団体、企業、行政と連携した「木津川流域クリーン作戦」を実施した。実施予定や実施報告について、地元紙やケーブルテレビ等で複数紹介された。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和7年度で262回(木津川下流では42回)、住民等と交流を行った。実際に川に入る活動では、「川流れをして思ったことは、橋上から見ていたら穏やかなのに、実際やってみると流れが速かった」「川は楽しいけど、危ないところもあることがわかった」等の意見があった。 図書館で行う水槽展示では、「かわいい魚たちが毎年きてくれてうれしいです。すぐかえっちゃうけど、短い間まいにち楽しみにしています」「パパと一緒に見て楽しかったです。また来年もしてほしいです」「夏の暑い中、毎日孫とさかなを見に来ていました。ありがとうございました」等の意見があった。 「木津川流域クリーン大作戦」では、「こうして拾い集めると意外と多かった。特に空き缶、ペットボトル、『ポイ捨て』はやめてほしい!」「きれいになると気持ちがいい」「大人が捨てたゴミをいつまでも子どもたちに拾わせてはいけない」等の意見があった。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和7年9月に木津川・恭仁大橋にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。 三川合流拠点のさくらであい館を拠点とし、市民団体と協力して、春の野草教室として野草観察や、採集した野草の工作、調理・試食などの自然とふれ合える体験教室を開催した。アンケートでは8割以上の参加者が「非常に満足した」と回答し、「採取したノビル、ヨモギに加えて、京都自然教室で準備したユキノシタ、藤の花も天ぷらで味わい、大変良かった。」などの意見があった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、X)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗なし	排水機場・樋門見学会について、令和7年度は担当の河川レンジャーが活動休止中のため、実施していない。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、河道改修状況を踏まえて整備時期を検討していくものとする。令和7年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和7年度は既存施設の適切な維持管理を実施し、利用状況を踏まえながら必要に応じて改善を検討した。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	さくらであい館を拠点として野鳥観察会や水辺の生き物探検、自然観察会を実施した。 野鳥観察会では参加者から「講師の解説付きの観察会でわかりやすく次回も参加したい」などの意見があった。 自然観察では、「虫取りをしたことがなかったけど楽しかった」「バツタをたくさん捕まえられた。いろんな種類がいた」といった意見や、ヨシを使ったクラフト体験では、「ヨシ笛の音色が想像していた音と違って驚いた」「ノコギリを使うのが初めてだった。むずかしかったけど、楽しかった」といった意見があった。
	10		破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるとまちごとハザードマップ」の通常版を36箇所に追加設置。(城陽市で17箇所、八幡市で4箇所、精華町で9箇所に追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は通常版が490箇所、高度化が62箇所となった。令和7年度において、京都府域での高度化の設置はなし。
環境	11	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 令和7年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和7年度は、河川協力団体(やましろ里山の会)や他、関係者の協同のもと、木津川の砂州の侵食・体積を促進し、水辺環境を多様化することを目的に、木津川玉水橋上流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	対策が必要な外来種は確認されておらず、今後の調査結果に応じて対策検討を行う。

木津川下流進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	19	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	木津川においては、平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、是正指導看板の設置や現地指導の実施に伴い是正を継続し、令和7年度では、約4.0万㎡と減少傾向となっている。不法耕作地にある工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者自身による撤去が行われた。
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸・陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）〕	進捗あり	令和7年度は、河川協力団体(やましろ里山の会)や他、関係者の協同のもと、木津川の砂州の侵食・体積を促進し、水辺環境を多様化することを目的に、木津川玉水橋上流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川〕	該当なし	
	24		内湾・汽水域・河川、琵琶湖・内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査、検討していく。令和7年度は該当箇所がないため実績なし。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	33		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	木津川 恭仁大橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.9mg/Lであり、環境基準A類型(2mg/L)を満足している。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既存ダム、ダム下流）	進捗あり	令和7年度は淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討した。引き続き木津川上流河川事務所や水資源機構と連携した土砂管理について計画を検討している。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）	該当なし	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和7年度は、伐木工事を実施後の樹木の生育状況把握のためのモニタリング調査を実施し、城陽地区では、マグワ、アカメガシワ、ヤナギ類が確認された。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和7年度に淀川環境委員会に諮った工事案件数は21件であった（うち木津川は9件）。「工事範囲において魚類、底生動物の調査を実施すること」という指導に対し、調査を実施し、施工時において保全対策を実施した。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和7年度は、河川協力団体(やましろ里山の会)や他、関係者の協同のもと、木津川の砂州の侵食・体積を促進し、水辺環境を多様化することを目的に、木津川玉水橋上流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和7年度に京都府山城土木事務所が所管する、「国道307号(山城大橋)防災・安全交付金(耐震)工事」を実施するにあたり、環境委員に工事の影響範囲に対する生物等の調査が必要との指導・助言をいただき、調査を実施した。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。令和7年度は10月に開催し、若手職員から気候変動を踏まえた取組や、新たな制度を使う先鋭的な取組などを発表があった。これらの発表が職員の育成につながっている。

木津川下流進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	42	流域管理に向けた継続的な施策展開	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	平成29年度～令和6年度に設置された中聖牛や竹蛇籠の、設置後の土砂堆積状況経年変化を調査し、環境情報の把握・整理を行っている。 令和7年度は、木津川玉水橋上流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	地域・学校と連携し、ハザードマップの読み方や避難フローの考え方を学ぶ出前講座や、八幡排水機場・橋本樋門見学会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した(10回実施)。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	水害に強い地域づくり協議会にて流域タイムラインの共有とWEB会議による情報共有のタイミングについて説明を行った。 令和7年度は大きい出水がなかったため、台風に関する情報共有は実施していない。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。 令和7年度は水害に強い地域づくり協議会にて、市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援及び要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2025淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。 令和7年度は全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にもるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。 令和7年度において、城陽市で17箇所、八幡市で4箇所、精華町で9箇所に追加設置した。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」の通常版を36箇所に追加設置した(城陽市で17箇所、八幡市で4箇所、精華町で9箇所に追加設置)。これにより、京都府域での設置箇所は通常版が490箇所、高度化が62箇所となった。令和7年度において、京都府域での高度化の設置はなし。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置された。 令和7年度は流域プロジェクト2.0の更新内容や取組事例の紹介、芥川特定都市河川の取組状況、防災気象情報の改善について情報共有を行った。
治水・防災	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	令和7年度に0.6kmの浸透対策を実施した。残り2.2kmの浸透対策を引き続き実施する。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	完了	侵食対策は完了済み。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	桂川・宇治川の整備進捗や淀川本川の安全度を低下させないよう上下流バランスを確保しながら河道掘削等の河川改修を実施する。 令和7年度現在、淀川下流部の流下能力増強につながる橋梁改築を実施していることから、河川改修実施時期を検討している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	木津川上流部及び中流部での対策と下流部での対策を併せて実施することで、整備計画目標流量を安全に流下させることができる。引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	令和7年度は堤防整備等の量的整備を優先して実施しているため、照査の実績は無し。今後、各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討していく。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗あり	残整備区間については必要な調査を実施し、他工事の改修時に併せて整備を検討している。

木津川下流進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	65	地震・津波対策	津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸開の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	令和7年度は、慣行水利権の更新時期を迎える案件があったが、実態調査未実施のため、許可化には至っていない。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率及び節水への協力依頼をホームページに掲載するとともに、各種イベントでのパネル展示などにより、ダムの役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っている。また淀川ダム統合管理事務所にて既設ダム群の操作指示を行うことにより効率的な用水補給を実施している。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和7年度は、高山ダム・青蓮寺ダム、布目ダムに係る渇水が発生したため、渇水対策幹事会、利水者連絡会、渇水対策会議が開催された。
利用	72	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)		舟運の取り組み内容	該当なし	令和7年度現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	
	74	川の安全利用施策の実施	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	令和7年度は安全利用点検結果をもとに7箇所の補修を実施した。また、保育園・小学校などで着衣泳・PFD着用などの出前講座や水辺活動時の安全指導及び啓発活動を10回実施した。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和7年9月に木津川・恭仁大橋にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施した。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	木津川の洪水敷利用について、自治体が占有する公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催した。委員から、環境啓発看板の不十分さの指摘があり、「環境意識の向上」、「環境部署との連携」等の助言・指導が行われた。また、安全面の取り組みとして、豪雨時やダム放流時の水位上昇の情報が利用者に伝わる、知らせる体制への検討の指導・助言が行われた。また、笠置町のキャンプ場について、管理状況への評価があり、「自然を上手に保全しながら利用していくモデルケースになれる」と期待する意見が出された。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	木津川の平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、是正指導看板の設置や現地指導の実施に伴い是正を継続し、令和7年度時点では、約4.0万㎡と減少傾向となっている。不法耕作地にある工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者自身による撤去が行われた。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	令和5年に「八幡市かわまちづくり計画」が登録され、現在事業を実施している。 令和7年度は背割堤地区に水辺へのアクセスとなる階段を整備した。 平成31年に「和東町木津川かわまちづくり」が登録され、。令和7年度は親水護岸(L=62m)を整備した。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和7年度の整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	木津川において、ラジコン飛行機や車両によるオフロード走行等の迷惑行為が行われており、休日巡視を含めた現地での口頭指導、侵入防止対策を行った。またラジコン飛行機は、ほぼ見られなくなっている。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和7年度は0名となっている。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	令和7年度は和東町木津川かわまちづくり計画に基づき、親水護岸(L=62m)を整備した。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施した。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和7年度末時点で、予防保全段階20箇所、措置段階0箇所となっている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86	維持管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	令和7年度は「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、橋梁、樋門等許可工作物60施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が21施設、予防保全段階が6施設確認された。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和7年度は、川の流れを阻害する樹木について、河川環境に配慮しながら、約8千㎡の伐採を実施した。令和6年度から令和7年度の伐採の進捗率は計画の約0.3%となっている。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	縦横断測量等のモニタリングにより、定期的及び出水後の河床変動状況を把握しながら、必要に応じて河道内堆積土砂の除去を行っていく。 令和7年度は樋門(4箇所)の堤外水路において堆積土砂の掘削を行った。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努めていく。 淀川河川事務所管内では、令和7年度に約18㎡のゴミを処理した。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度点検結果
人と川のつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	地元小学校の防災学習の授業において河川レンジャーと連携して、上野遊水地管理センター及び遊水地において防災学習を実施した。令和7年度は昨年と同じく小学校4年生28人が参加した。「遊水地を見学して川のことに興味を持った」「地域を守ってくれていることに感動した」といった感想があった。 また、名張市や地元NPO団体法人と連携し、名張の一大環境活動である「名張クリーン大作戦」を実施した。併せて地元環境を紹介する観察会を行った。観察会参加者からは、「近隣に住んでいるがこの地域に豊かな自然があることを初めて知った」という声が寄せられ、「来年も同様の取り組みをやってほしい」と好評だった。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	名張市内のNPOと連携して、地元小学生らとともに留い川簡易魚道作成を実施した。 令和7年度は初めて錦生赤目小学校と連携し、4年生を対象とし授業の一環として28名に簡易魚道設置作業体験を実施した。(参加者小学4年生28名、赤目滝水族館4名)「ナマズが産卵のために川を上るということを初めて知った。ナマズが川を上ってきてくれるのが楽しみで、見にきたい」と好評だった。 また、上野商工会議所等地元の団体が主催する「市民夏のにぎわいフェスタ2025」に参加し、川のいきものふれあいコーナー(水生生物の調査体験)と照明車の展示を行った。イベント全体で約3万人の参加があり、展示ブースの参加者は約300人以上であった。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	木津川上流河川事務所管内では河川レンジャー5名が在籍し、木津川上流域で活動をおこなっており、令和7年度も19回、住民等と交流を行った。「名張川のいきもの展」「木津川のいきもの展」では、川に生息する生き物を展示し紹介したほか、生き物の立体塗り絵を作成するワークショップが開催され、「名張川についてもっと知りたい」「川を身近に感じる機会が少なくなってきた」と好評だった。また、「島ヶ原と西山の28災害地を歩く」では、かつて木津川上流域で起こった二八災害について学ぶ活動が行われた。参加者からは、実際に二八災害を経験された方からお話を聞けたことを評価する声が寄せられた。今後も河川レンジャーと連携して木津川の自然環境への関心を高めるとともに、地域ぐるみの環境教育を活発化していく。
	4		子供達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	【出前講座】令和7年度は錦生赤目小学校、名張市立桔梗が丘南小学校及び名張小学校にて川の環境、防災について実施した。 【水生生物調査】毎年、海の日に水生生物調査を実施。参加者から「バックテストで色が変わるのがすごかった。見たことがない生き物を見ることができた。」と好評だった。令和7年度は約140名の方が親子で水生生物調査に参加。参加者から「水質測定の方法がわかりやすく、簡単に学べて子供にとってもよい勉強になったと思います。4年間取れなかった魚が捕れてとてもうれしかった。」と好評だった。子供たちへの教育の一環として、今後も継続して環境教育を実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	令和7年度はX(旧twitter)にて、12月に開催した上野遊水地10周年記念イベント関連のポストを実施した。これらにより、事務所のHPのアクセス数が向上しており(11月(11,834)、12月(18,245))、のイベント広告におけるSNS媒体の有効活用ができた。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	上野遊水地は木津川の洪水の一部を一時的に貯留させ、流量調節機能の確保と伊賀市周辺の治水対策を目的として、平成27年6月より運用を開始し、令和7年で運用開始10周年を迎えた。 これを記念して『上野遊水地フェスティバル』を開催し、当日は国会議員等の来賓を招き、約850人の方が訪れ、地域の方々と遊水地が果たしてきた役割や地域の水害・土砂災害リスク、農業振興の必要性について再認識していただいた。参加者からは、「ウォークラリーの説明が分かりやすく理解できた。マインクラフトで上野遊水地のことを学べて楽しかった。」と好評だった。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	改修事業に併せ実施していく予定である。令和7年度は実績なし。 黒田地区(名張川左岸高水敷整備)については、令和9年度から令和10年度の整備を予定。 箕曲中村地区(宇陀川右岸)については、令和10年度からの整備を予定。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	名張かわまちづくりの事業期間は令和元年度から令和11年度を予定している。 令和7年度は宇陀川右岸階段を施工済みである。 令和10年度に宇陀川右岸スロープを施工予定である。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容		
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報の発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	まるごとまちごとハザードマップについて、令和7年度は南山城村にて設置検討しており、設置までには至っていない。 また、木津川上流管内のダム上流区間(治田川、石打川、布目川、深川)の浸水想定区域図を追加するにあたり、関係市村に周知するとともに令和8年3月27日に告示を行った。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	減災対策協議会(平成28年設立)は、令和7年度に2回の協議会を開催(累計19回)。木津川上流域の流域治水プロジェクト2.0等について意見交換を行った。また、関係機関と連携して伊賀市マイ・タイムライン講習会を開催した。
	12		上下流交流の促進	水源地ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	令和7年度も、各ダムにおいて、小学生や一般来訪者の施設見学受入れを実施した。 川上ダムでは川上ダム水源地域ビジョン実行連絡会主催の「あおやま川上湖祭り」を開催した。 比奈知ダムでは8月1日「水の日」にダムライトアップを実施した。 布目ダムでは8月2日に布目ダム施設見学会を開催した。参加者からは「普段見られない所など見せていただき、貴重な体験となった。とても面白い見学会だった。」と好評だった。 青蓮寺ダムでは7月から8月にかけて青蓮寺ダム施設見学会を開催した。参加者からは「操作室の貴重な見学もできて楽しく学べた。ドルフィン号(モノレール)に乗りしたり、キャットウォークを歩くことができて満足です。」と好評だった。
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数		
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容		

木津川上流進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	15	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	進捗あり	川上ダムの建設に伴い、平成28年移転開始以降、令和4年末までに565個体の移転を実施した。令和6年度調査迄で、遡上路を設置した全ての堰（11箇所）においてオオサンショウウオの遡上を確認しており、人工巣穴32箇所のうち29箇所 で利用を確認した。 令和7年度は川上ダム建設事業で行ってきた調査及び保全対策を冊子にとりまとめた。 今後は河川水辺の国勢調査[ダム湖版]のテーマ調査として、生息確認調査を10年に1回実施していく。遡上 路及び人工巣穴の点検・メンテナンスは、年に1回程度実施していく。
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数	該当なし	
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容（回数）	進捗あり	水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同し、ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。 令和7年度は初めて錦生赤目小学校と連携し、4年生を対象とし授業の一環として28名に簡易魚道設置作業体験を実施した。（参加者小学4年生28名、赤目滝水族館4名）「ナマズが産卵のために川を上るということを初めて知った。ナマズが川を上ってきてくれるのが楽しみで、見にきたい」と好評だった。
	18			外来種対策の実施	進捗あり	令和7年度はコクチバスの繁殖ポテンシャルの高いエリア（コアエリア）での環境DNA調査を実施し、コピー数の増加を確認したため現地調査にて駆除を行った。コクチバスの産卵床が名張川3カ所、宇陀川8カ所、柘植川1カ所、木津川2カ所の啓14カ所が確認され、そのうち7カ所で卵（約1万5千個）が確認された。確認されたコクチバスの産卵床及び親魚は破壊・捕獲し、駆除した。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止状況・対策箇所数	進捗あり	令和7年度も引き続き、ゴミが捨てられている場所や種類等の現状を分析したゴミマップを作成した。投棄ゴミの実例を更新し、最新の状況を反映した。河川ゴミの削減に向け、流域住民に当事者意識を感じてもらえるよう周知・啓発に努めている。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗なし	高山ダムの貯水池内法面侵食防止と湖岸緑化を目的に土留柵等の設置している（H21年度）。現在、水位低下後の法面裸地において、緑化がはかられている。令和7年度は実施なし。
	22	河川の連続性の確保	河岸・陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数	該当なし	
	23			干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積	該当なし	
	24		内湾・汽水域・河川、琵琶湖・内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同し、ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。 令和7年度は初めて錦生赤目小学校と連携し、4年生を対象とし授業の一環として28名に簡易魚道設置作業体験を実施した。（参加者小学4年生28名、赤目滝水族館4名）「ナマズが産卵のために川を上るということを初めて知った。ナマズが川を上ってきてくれるのが楽しみで、見にきたい」と好評だった。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	令和7年度は、高山ダムで4月15日、室生ダムで5月14日にフラッシュ放流を実施した。 また、高山ダムで4月と3月、室生ダムで5月、比奈知ダムで4月に土砂還元を実施した。 これらにより、河床に付着した藻類の剥離が確認された。
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数		
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討内容	進捗あり	令和7年度も引き続き、地域の子どもたちに対して、川への関心向上及び水質保全活動推進を目的として、海の日 に稲広橋で水生生物調査、パックテスト（簡易水質検査）等を実施した。参加者から「水質測定の方法がわかりやすく、簡単に学べて子供にとってもよい勉強になったと思います。4年間取れなかった魚が捕れてとてもうれしかった。」と好評だった。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容		
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果		
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	情報共有ツールとして支川を含む流域の水質汚濁状況を直感的に把握できる水質見える化マップを更新しHPへ掲載している。また、上野生涯学習推進会議と連携して稲広橋で水生生物調査を実施した（今年で31回目）。 令和7年度は189人の参加者があり、河川環境への関心の高さがうかがえた。参加者から「水質測定の方法がわかりやすく、簡単に学べて子供にとってもよい勉強になったと思います。4年間取れなかった魚が捕れてとてもうれしかった。」と好評だった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	平成30年度より、木津川上流ダム（高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム、川上ダム）では水質保全対策を継続実施している。 令和7年度において、アオコ・淡水赤潮による大規模な水質障害は発生していない。

木津川上流進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	35	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既存ダム、ダム下流）	進捗なし	令和4年4月、木津川上流ダム群土砂管理懇談会にて、川上ダムの代替補給容量を用い、既設ダムの水位を低下させて実施する効率的な堆砂除去の基本方針を作成した。 令和7年度は、川上ダムが試験湛水中であるため、川上ダムの代替補給容量を利用した堆砂除去は実施できていない。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）	進捗あり	令和7年度に以下の透過型堰堤が完成した。 ○坂ノ下第2砂防堰堤（上流）
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	該当なし	
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数	進捗あり	工事を実施する箇所において、「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針2012（三重県教育委員会・奈良県教育委員会、平成24年）」に基づき、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオの生息状況を確認するとともに、生息が確認された際には、個体を一時的に捕獲・保護し、DNA分析によって在来種であった場合は工事の影響がない場所に移動・放流することを目的としてオオサンショウウオ保護調査を実施している。 令和7年度は、名張管内において2件の工事が本調査の対象となり、そのうち1件において2個体のオオサンショウウオの生息が確認された。1個体は捕獲し、「個体を確認した場合の対応」に従い対応した上で、名張市郷土資料館に移送した。もう1個体は堰跡のコンクリート構造物の間隙の奥に潜んでいたため、捕獲できなかった。2回目の見つけ採りによる調査では、堰跡のコンクリート構造物の間隙で確認された個体は見つけられず、締め切り前に調査範囲外に移動した可能性が高いと考えられたが、工事では細心の注意を払って作業を実施した。工事期間中に個体が発見されることはなかった。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	名張市や地元NPO団体法人と連携し、名張の一大環境活動である「名張クリーン大作戦2025」を実施した。 また、水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同し、ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	該当なし	
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和7年度は名張市の桔梗が丘南小学校・名張小学校にて川の環境（川のいきものと水質）について出前講座を実施した。企画運営を若手職員のグループで行い、若手職員の育成につながっている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	第42回木津川上流河川環境研究会にて、令和7年度の取組報告を行った。 今後の方針について、総合土砂管理では、流下能力（水位）による置砂影響評価を実施すること等のご意見をいただいた。
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えての被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	流域治水プロジェクトとして、昨年に引き続き伊賀市と連携してマイ・タイムラインの作成に係る講習会を実施した。令和7年度は33名の参加があった。参加者から「あくまで家を中心に考えたが、平日なら家族の職場、学校など、いろいろなパターンでのタイムラインも作ってみようと思いました。防災避難に改めて意識付けができました。初めて参加しましたが、災害について勉強させてもらいました。ありがとうございます。」と好評であった。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和7年度は、洪水対応演習にて、ホットライン（電話及びweb会議）を実施した。水防テレビコミュニケーションについては令和7年度に出水がなかったため未実施であった。
	45			ハザードマップ作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和7年度に内外水一体型リスクマップを作成した（伊賀市、名張市）。 木津上管内の自治体におけるハザードマップ作成は完了している。
	46			災害対応プログラムの作成内容 （災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容）	該当なし	
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	令和7年度も継続して、伊賀市と国交省合同の排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗なし	水防拠点の整備について、令和7年度は実績無し。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	まるごとまちごとハザードマップについて、令和7年度は南山城村にて設置検討しており、設置までには至っていない。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	10月20日に木津川筋、名張川筋において関係機関と重要水防箇所共同点検を実施した。危険箇所を回り、どのような背景、基準で選定されているか現地にて確認した。参加者から「水害等災害時に浸水エリア想定等の共有が図れたら、避難所開設準備の効率化もできる。CCTVの夜間対応」等情報交換を行った。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	進捗あり	令和7年度は減災対策協議会（平成28年設立）を2回開催した（累計19回）。木津川上流域の流域治水プロジェクト2.0等について意見交換を行った。また、関係機関と連携して伊賀市マイ・タイムライン講習会を開催した。

木津川上流進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	完了	
	54			堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗なし	堤防整備に合わせて実施を予定している。名張かわまちづくり一体型浸水対策事業（1期）では300 m施工済み、残り700 mである。令和7年度は未実施である。 2期事業は令和9年度より着手予定である。
	56	川の中で洪水を安全に 流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	該当なし	
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	伊賀上野地区において、服部川の河道掘削及び三田地区で引堤を行っている。令和7年度は約21,000m3の掘削、および仮橋・築堤の施工を進めた。 R7服部川河道掘削工事（R7補正）で15,000m3の掘削を実施予定である。 R7伊賀上野橋上流河道掘削他工事（R7補正）で25,200m3の掘削を実施予定である。 河道掘削進捗率：65％ 築堤進捗率：76％
	58	高規格堤防（スーパー堤防）の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策（砂防堰堤、山腹工）の実施内容・箇所数	進捗あり	令和7年度に坂ノ下第2砂防堰堤（上流）が完成した。 谷出第7砂防堰堤については、現在整備中である。
	60	既設ダム等の運用の検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	令和7年度は、室生ダムでは前線に伴う出水により、6月26日に洪水調節を実施し、安部田地点で1.14mの水位低減効果が確認された。 事前放流の実績は無かった。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	堤防整備、河道掘削等洪水に対する流下整備について優先的に実施しており、今後、樋門・排水機場について耐震照査を行い、必要な対策を検討していく。 令和7年度は耐震照査は実施しておらず、令和8年度も耐震照査の予定なしである。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	該当なし	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	該当なし	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業の完了に伴い、安定した水道用水の供給が可能となった。 令和7年度は、川上ダムは試験湛水中ではあったが、少雨に伴うダム下流の河川流量の減少に伴い、川上ダムから水道用水（新規利水）の補給を行った。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化（利水者会議）の実現に向けた内容	進捗あり	令和7年度は、渇水をうけて、室生ダム水利用協議会の規約及び申合せ事項を現在の実情に合うよう改正を行った。

木津川上流進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組（水面利用）	舟運の取り組み内容		
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗なし	河川利用、水面利用に向けての誘導または規制の取組を行う。 令和7年度は実績なし。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	危険箇所と判断される箇所には、注意喚起看板の設置や水難事故防止の看板を設置して川の利用者に注意を呼びかけている。令和7年度については安全利用上補修が必要となるほどの事例は発見されなかった。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用（環境教育等）の実施内容	進捗あり	河川レンジャー活動、水生生物調査、名張クリーン作戦を行った。 令和7年度においても、市や地元NPO団体や河川レンジャー等と協同で水生生物調査・名張クリーン大作戦（河川清掃）を実施した。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組（川らしい河川敷利用）	河川保全利用の取り組み内容・回数	進捗なし	令和7年度は実績なし。
	77			違法行為の是正内容	進捗なし	令和7年度は問題となる違法行為の確認実績はなかった。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	名張かわまちづくり一体型浸水対策事業を令和元年より整備中であり、かわまちづくりのハード整備として水辺の整備を行っている。令和7年度も引き続き実施中である。 進捗率：Ⅰ期 79%、Ⅱ期23%、全体42% Ⅰ期：橋梁架替、橋梁延伸、引堤 Ⅱ期：用地買収
	79			小径（散策路）の利便性向上の取組内容	進捗あり	歩行者等が河川に沿って容易に移動でき、安全に水辺に近づけるよう、小径（散策路）の整備を継続して実施した。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗なし	憩い、安らげる河川の整備に向けた、迷惑行為の是正を行う。令和7年度は迷惑行為なし。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	憩い、安らげる河川の整備に向けた、迷惑行為の是正を行う。令和7年度はホームレスの実績なし。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	まちづくりや地域連携の取り組みとして、歴史文化と調和した河川整備を目指す。令和7年度は「愛宕の火祭り」に利用する坂路を整備した。
	83			水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	進捗あり	木津川上流では、名張川河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、平成30年度に名張市の名張かわまちづくり計画が登録され、計画に基づく整備を実施している。親水護岸、桜並木、親水広場、堤内地の案内サイン等を整備し、川を活かした地域づくりを実施中である。 令和7年4月23日に第7回名張かわまちづくり協議会を開催した。事務所からは事業の進捗状況を説明し、名張市からは令和6年度の取り組み内容と今後の取り組み予定を説明した。 令和8年3月30日に第14回名張かわまちづくり協議会実行部会を開催。事務所からは事業の進捗状況を説明し、名張市からは令和7年度の取り組み内容と今後の取り組み予定を説明した。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数 堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和7年度は、青蓮寺ダム、比奈知ダム、川上ダムにおいてダム定期検査を実施した。 出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を実施した。 令和7年度の堤防及び護岸の点検結果は、要監視段階が363箇所、予防保全段階が1箇所、措置段階が3箇所であった。同じく樋門等の点検結果は、要監視段階63箇所、予防保全段階及び措置段階は0箇所だった。 各ダムの総合判定結果は、以下のとおり。 青蓮寺ダム・・・維持管理状況検査 総合判定C、ダム施設及び貯水池の状態検査 総合判定B1（b1判定2件、b2判定2件） 比奈知ダム・・・維持管理状況検査 総合判定C、ダム施設及び貯水池の状態検査 総合判定B1（b1判定2件、b2判定4件） 川上ダム・・・維持管理状況検査 総合判定C、ダム施設及び貯水池の状態検査 総合判定B2（b2判定4件） 総合判定結果の趣旨は以下のとおり。 ・維持管理状況検査 総合判定・・・「（管理体制、施設維持管理、貯水池維持管理、流水管理において）全体的に問題はない」 ・ダム施設及び貯水池の状態検査 総合判定B1・・・「ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、速やかに措置を講じる必要がある」 ・ダム施設及び貯水池の状態検査 総合判定B2・・・「ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、必要に応じて措置を講じる必要がある」

木津川上流進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
維持 管理	85	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗なし	高山ダム(5,768/7,600千m3)、青蓮寺ダム(2,217/3,400千m3)、布目ダム(730/1,900千m3)、比奈知ダム(1,228/2,400千m3)では、目安堆砂量に対する進行速度が1.0倍以上となっている。今後、ダムの長寿命化施策として、川上ダムの本格運用開始後は代替容量を用いて、各ダムの堆砂対策を順次実施していく。 上記数値は、(現行堆砂量/計画堆砂量)である。 令和7年度末時点では、川上ダムが試験湛水中であるため、川上ダムの代替補給容量を利用した堆砂除去は実施できていない。
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施しており、令和7年度は203箇所 の点検を実施した。不具合の報告があるにもかかわらず補修計画が定まっていない施設については計画の作成の指導を行った。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗なし	令和2年度から令和7年度の伐採の進捗率は下記のとおりとなっている。 (大規模)進捗率 43.90% 上野遊水地事業 (河川改修事業)進捗率 5.86% 全体 令和7年度は実績無し。令和8年度は夏秋地区樹木伐採(当初:約6,000m2)、服部川において、樹木伐採(当初:約8,632m2)を実施予定である。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	木津川大内地区において、約11.7千m3の堆積土砂の除去を行った。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川区域等における違法行為の発見堤防や護岸等の変状の発見、河川内の環境や利用に関する情報収集等を目的に河川巡視を実施している。また、啓発活動の一環として、令和7年にゴミマップを更新し啓発している。投棄ゴミの実例を更新し、最新の状況を反映した。

淀川本川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和7年10月に城北わんどにおいて、淀川河川事務所主催、市民団体・企業・地元住民との連携による「淀川わんどクリーン大作戦」を行い、約219名が参加した。 本川右岸鳥飼ワンドでは、ワンドの整備・利用の活性化に向けて、河川レンジャーが中心となって地元住民・大学などが協働し、外来水草の除去、自然観察会など様々な活動を行った他、地元自治体との情報交流を深めている。左岸側では、淀川河川公園枚方地区多自然池エリアにおいて、かわまちづくりと連動した水辺環境の整備を自治体・地元企業と連携して行っている。 鳥飼ワンド自然観察会の参加者からは「ワンドは自然や生き物にふさわしい場所として子どもたちに残したい」「ワンドは手入れをしないと維持できないことを知りました」「もっと活用されれば良いと思います」「丁寧に、今に至った環境の経緯や理由を教えてくださいよう学びました」といった意見があった。 また、流域全体で河川清掃を行う「淀川水系一斉美化アクション」を実施した。小・中学校での防災学習や、自治会と連携したマイ・タイムライン学習などを実施。参加者からは「大学卒業後、久しぶりに参加いたしました。楽しかったです。また参加したいです」「わざわざ川にゴミを捨てに来る人の気持ちは分からない」「街に落ちまくっているゴミに悲しくなり、少しでも地球のためになることをと思い参加しました」「清掃活動に興味を持ち、行っているが、淀川のことを考えて清掃を行ったことはこれまでなかった」等の意見があった。 淀川河川公園大塚地区において、地域団体や近隣の大学・高校と協働し、住民参加型プログラム「大塚地区魅力発見プロジェクト」として、「秋の河川公園自然・楽しみ発見プログラム」や「野草観察会」、「野草迷路」などのイベントを開催した。参加者からは「人が入れるところと入れない所が解りやすくなれば良いと思った」「野草観察とても良かった。もっと時間があればよいのに」「(バッタのオリンピック)楽しく参加させていただき、今回で3回目です。来年も是非開催お願いします」等の意見があった。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	令和7年度は、地域団体、学校、企業等と連携し、河川清掃や外来種駆除、水辺環境の整備等の川づくりに関わる活動を行った。活動全体を通じて延べ317団体(市民団体138、行政関係76、学校関係103)と連携を図った。 地域団体(NPO)と連携し、城北ワンドにおいて外来魚の除去活動を実施した。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和7年度に262回(淀川本川では161回)、住民等と交流を行った。水難事故防止のために小学校出前授業で行ったライフジャケット着用指導等では、「川の危ないところを知って、雨の降りそうと思うときは、行かないようしようと思った」「海や川に入るときは、しっかりと準備してから入ろうと思う」「ペットボトルやバケツなどでも助けられることが分かった」といった意見があった。 その他、ボランティア団体を対象とした防災講座や自主防災会の要請に応じて浸水地歩行体験の実施、区民カレッジ各校と連携して淀川や防災に関する学習会等を行っている。 子ども食堂ボランティア団体と連携して行った親子対象の防災講座では、「考えたことがなかったので、話を聞けて良かった」「何処に逃げるかわかった。今いるところも水に浸かるんや！」「家で防災バッグのシールを子供と貼って、一緒に考えることが出来たのが良かった。(今まで考えたことがなかった)」といった意見があった。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和7年9月に十三干潟にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。参加者からは、淀川の歴史、実際にどのような生物がいるか、川のpH、CODなど色々知れて参加してよかったとの声があった。 とりかい高等支援学校で出前授業として堆肥作り、プランターの花苗の植え付け作業、むらの高等支援学校の学科外実習として太間地区の花壇植え替え作業での職場体験実習の受け入れを実施している。生徒さん達からは「親切に指導していただき、嬉しかったです。(むらの高等支援学校)」や「一緒に作業するクラスメイトへの配慮等の指導も、ありがたかったです。(とりかい高等支援学校)」や、教職員からは「作業場所でテントを設営したり随時休憩時間を設けていただくなど、生徒の体調管理等についても配慮があり感謝しています。(むらの高等支援学校)」や「生徒たちの今後の進路指導や就労支援活動にも、活かしていきます。(とりかい高等支援学校)」などの意見があった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、X)で、継続的に情報発信している。
	6	住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	令和7年5月に淀川舟運フェスティバル(京都府主催)と連携し、京都(伏見)～大阪(十三)まで観光船を運航する社会実験を実施した。 令和7年8月から10月に十三及び毛馬船着場から夢洲会場まで万博来場者輸送の社会実験を合計3回実施(4回の予定で1回台風の影響により中止)。定員に対し十三～夢洲間は約50倍、毛馬～夢洲間は約20倍の応募であった。 参加者からは、「川からの風景が貴重な体験となった」「淀川ゲートウェイの役割・仕組みが理解できた」「十三船着き場が十三駅から近く便利であった」「船内ガイドが分かりやすく勉強になった」というご意見をいただきました。 令和8年1月に大阪府・枚方市・寝屋川市・陸上自衛隊・近畿地整と連携し、淀川舟運を活用した防災訓練(物資輸送訓練)を実施した。 令和8年3月に淀川ゲートウェイ完成を記念して、出席者(国会議員、大阪府議会議員、大阪市議会議員、沿川自治体関係者、地元関係者など)総数約200名による式典を開催した。 探訪ウォークや施設見学会などのレンジャー活動で、毛馬閘門・淀川大堰閘門や各地域の排水機場・樋門などの役割を解説した。小学校の校外学習で毛馬排水機場等を見学した児童から「学校から近いけどたぶんみんな知らないと思うので教えてあげたい」「大阪市民を守っている施設はすごいと思う」「鮎も遡上するし海の魚やクラゲなども見れるらしいので見てみたい」といった意見や、その他淀川大堰、毛馬閘門等の見学者からは「淀川に水門や大堰があることを知らなかった」「旧閘門は迫力があるが、説明をされなければ、それ以上の興味を持たなかった」「淀川の水で生活をし、そこにある施設に守られていることを知った」「大堰を渡れて感激した」「排水機場の中にも入ってみたい」「家から近くなのに大堰のことや排水機場をぜんぜん知らなかった」といった意見があった。(レンジャー活動3回、参加者84名)
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、河道改修状況を踏まえて整備時期を検討していくものとする。令和7年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	豊里地区において、公園利用者の快適性向上を目的として公園内に手洗い場を新たに整備した。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	さくらであい館を拠点として野鳥観察会や水辺の生き物探検、自然観察会を実施した。 野鳥観察会では参加者から「講師の解説付きの観察会でわかりやすく次回も参加したい」などの意見があった。 自然観察では、「虫取りをしたことがなかったけど楽しかった」「バッタをたくさん捕まえられた。いろんな種類がいた」といった意見や、ヨシを使ったクラフト体験では、「ヨシ苗の音色が想像していた音と違って驚いた」「ノコギリを使うのが初めてだった。むずかしかったけど、楽しかった」といった意見があった。

淀川本川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
人と川とのつながり	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	大阪府域において、「まるとまちごとハザードマップ」の通常版を14箇所、高度化を2箇所に追加設置した（摂津市で通常版を14箇所、茨木市で高度化を2箇所に追加設置）。これにより、大阪府域での設置箇所は通常版が112箇所、高度化が9箇所となった。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会（水害に強い地域づくり協議会）を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 令和7年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域（湛水区間）、下流域（流水区間）〕	進捗あり	淀川におけるイタセンバラ野生復帰の取り組みの一環として、イタセンバラを含むタナゴ類の仔稚魚調査を行っている。令和7年度は城北ワンドにおいて3種確認された。
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域（盆地～源流部）木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和7年度は、地域の市民団体、大学、企業、行政で構成されている淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク（イタセンネット）、大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター、国土交通省淀川河川事務所が連携し、城北ワンドでオオクチバス、ブルーギル等の外来魚を併せて7,952 個体を駆除している。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和7年度は、城北ワンド群にて淀川河川事務所が維持作業として外来魚の除去作業を実施し、オオクチバス、ブルーギルを併せて2,544個体を駆除している。 また、特定外来水草であるオオフサモ、ミズヒマワリ、オオバナミズキンバイ、ホテイアオイ、セイヨウカラシナが確認されたため、維持管理作業により駆除作業を行った。除去量は合計で53,774kgであった。 また、環境省にてヌートリア35個体を捕獲している。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	該当なし	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）〕	進捗あり	令和7年度に唐崎地区の既存ワンド（3号、4号、5号）の整備（機能改善）を行った。 また、令和元年度～2年度に、阪神なんば線淀川橋梁架替事業に係る浚渫土を活用し、淀川汽水域の河口域において人工干潟の再生を実施し、令和3～7年度にモニタリング調査を実施しているところである。令和7年度の調査では干潟環境を望む生物が確認され、良好な干潟環境が維持されている。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川〕	進捗あり	令和7年度は、鵜殿地区において環境委員の助言のもと、切下げ整備（約4,400㎡）を行った。現在ヨシの生育段階であるため経過観察中であり、順次モニタリングを行い効果検証を行う。
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	淀川大堰において、アユの遡上調査を行い経年変化を確認した。また、毛馬水門において、大川との水位差を小さくすることによるアユの遡上促進効果を確認した。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	進捗あり	アユの遡上の促進とコイ・フナの産卵促進を目的とした、淀川大堰の水位管理を行った。大川の水位が高い大潮満潮時に水位を低下させて、水位差を小さくすることで、アユの良好な遡上環境を維持している。 令和7年度の調査では、淀川大堰で約27万尾のアユの遡上（個体数）が確認された。
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	進捗あり	大川や神崎川、寝屋川への影響を含めた河川環境上必要な流量について関係機関と調整し必要な調査を行う。 令和7年度は淀川大堰下流において、汽水域環境調査を実施した。

淀川本川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和7年度に淀川枚方大橋中央で水質調査(BOD)を実施した。水質調査結果の平均値は0.9mg/Lであり、環境基準A類型(2mg/L)を満足している。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし	
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和7年度は、鵜殿地区において、植生分布調査や地下水位・水位物理環境調査を実施した。また、淀川汽水域において、水質の現状と生物の現状を把握するため、水際部の調査や大型底生動物、貝類等の調査を行った。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	唐崎地区において、既存ワンドの水域の連続性の確保や、干陸化したワンドの水域再生を実施した。淀川環境委員会において、外来水草が拡散しない除去方法や二枚貝に必要な底質環境のモニタリングを面的に実施することなどの指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和7年度に淀川環境委員会に諮った工事案件数は21件だった(うち淀川本川及び淀川支川は6件)。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和7年10月に城北わんどにおいて、淀川河川事務所主催、市民団体・企業・地元住民との連携による「淀川わんどクリーン大作戦」を行い、約219名が参加した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和7年度に大阪市が管理する「本庄水道橋下部工撤去工事(仮称)」について、環境委員に現地を確認頂き、生物のモニタリング調査を定期的に実施することなどの指導・助言をいただいた。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。令和7年度は10月に開催し、若手職員から気候変動を踏まえた取組や、新たな制度を使う先鋭的な取組などを発表があった。これらの発表が職員の育成につながっている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	令和7年度も環境情報として、鵜殿地区ヨシ原保全再生箇所の植生分布調査等を実施し、評価・フィードバックを行っている。
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、自治会、学校、図書館等と連携し、防災イベント、防災勉強会、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験、マイ・タイムライン作成、ハザードマップ学習等の指導を行った。令和7年度は計51回実施した。「教訓から学ぶ防災」として、過去の災害について学ぶ防災勉強会の参加者からは「今まで気づけていない事にきがつけた」「ゆっくり考えたことがなかったので、考える時間がもててよかった」等の意見があった。中学校行事として行われた水没ドアの開閉体験では、「水の深さが20cm違うだけで、ドアが重くて開けられなかった」「ドアが開いたら一気に水が流れ込んできて驚いた」等の意見があった。地域の防災訓練で浸水地歩行の体験者からは「水の中を歩く経験はないので、歩行して良かった」「私たちの自治会でもしてほしい。こういう経験をすることが大事」「子どもたちに良い経験をさせることが出来た。水の恐ろしさを知った」等の意見があった。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	水害に強い地域づくり協議会にて流域タイムラインの共有とWEB会議による情報共有のタイミングについて説明を行った。台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について情報共有を行うことになっているが、令和7年度は大きい出水がなかったため、実施していない。また、台風10号時にたかつきデジタルタイムラインの危機感共有会議を試行的に実施した。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和7年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。令和7年度は実績なし。
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2025淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。あわせて、摂津市鳥飼地区における「河川防災ステーション整備計画」が登録された。令和7年度においても事業の推進に向けて、引き続き摂津市を含めた関係者と協議を実施している。また、全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議により候補地(1箇所)の選定を行った。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。令和7年度において、摂津市で通常版を14箇所、茨木市で高度化を2箇所に追加設置した。

淀川本川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・ 防災	51	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	大阪府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」の通常版を14箇所、高度化を2箇所に追加設置した(摂津市で通常版を14箇所、茨木市で高度化を2箇所に追加設置)。これにより、大阪府域での設置箇所は通常版が112箇所、高度化が9箇所となった。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(大阪府域)分会を設置した。令和7年度は流域プロジェクト2.0の更新内容や取組事例の紹介、芥川特定都市河川の取組状況、防災気象情報の改善について情報共有を行った。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	残りの浸透対策については阪神なんば線淀川橋梁事業および淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。令和7年度も関係者機関と協議を実施している。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	完了	侵食対策は完了済み。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	淀川本川では、流下能力を向上させるために平成30年度から阪神なんば線淀川橋梁の架け替えに着手している。令和7年度は上部工の架設などを行った。また、令和3年8月に変更した淀川水系河川整備計画に新たな整備を位置付け推進している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	淀川下流部の流下能力を向上させるため、阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)の橋梁嵩上げを実施している。令和7年度は上部工の架設などを行った。引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	進捗あり	大宮東地区では高規格堤防整備(延長:130m)を実施している。下島地区についても令和6年度より高規格堤防整備(延長:260m)を実施している。令和7年度、大宮東地区については地盤改良および盛土を実施している。下島地区については地盤改良を実施した。
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	進捗あり	阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)において、橋梁の嵩上げを実施している。令和7年度は上部工の架設などを行った。
	62			陸閘の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施している。
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和2年に淀川大堰、令和3年に淀川陸閘、伝法陸閘、阪神陸閘の耐震対策が完了した。また、地震時の陸上輸送の遮断に対応するための代替ルートを確認する淀川大堰閘門事業に令和3年度より着手し、令和6年度には渡航可能な状態になった。令和8年3月に淀川ゲートウェイが完成し、閘門稼働の省力化、申請の簡素化が可能となった。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗あり	淀川左岸部の国道176号～JR上淀橋(JR東海道本線)の緊急道未整備区間2.2kmについては、淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、整備に向けて事業間調整を進めている。令和7年度においても引き続き関係機関との協議を実施している。
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	完了	大阪府及び大阪市において、各機関のHP上で平成25年8月公表結果を公開している。国土交通省では、「津波浸水想定の設定の手引き」を随時更新を行っており、引き続き最新の手引き等を情報提供を行う。
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	進捗あり	令和7年度は設備更新に向けての更新設計が完了した。
	67			陸閘の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施している。
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	大阪市水道及び大阪市工業用水道の更新にあたり、必要水量の見直しのうえ申請処理を行っているところであるが、令和7年度において許可にまでは至っていない。慣行水利権の許可化は実施していない。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率及び節水への協力依頼をホームページに掲載するとともに、各種イベントでのパネル展示などにより、ダムの役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っている。また淀川ダム統合管理事務所に既設ダム群の操作指示を行うことにより効率的な用水補給を実施している。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	完了	天ヶ瀬ダム再開発事業は令和4年8月に運用開始している。引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗なし	令和7年度は、琵琶湖水位低下に伴い本局に渇水対策本部、事務所に渇水対策支部を設置したが、渇水対策会議等を実施するまでには至らなかった。

淀川本川進捗点検結果(令和7年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	観光船で八幡から淀川ゲートウェイを通過し、十三まで向かう一気通貫イベントを実施した(5月11日)。万博の開催に伴い、夢洲と十三及び毛馬間において来場客輸送の社会実験を3日間実施した(8月23日、9月20日、10月5日)。災害時舟運活用輸送訓練として大阪市、枚方市、寝屋川市、陸上自衛隊の合同で物資の運搬訓練を実施した(1月16日)。淀川ゲートウェイ完成記念に合わせ、毛馬～八軒家浜、十三～毛馬のクルーズを実施した(3月14日)。「川の京都」として京都府が八幡船着き場付近においてクルーズイベントを実施した(11月7日、11月8日、11月9日)。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	令和7年度現在、不法係留は5隻確認されている。引き続き、秩序ある水面利用を促す。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに5箇所の補修を実施した。小学校での着衣泳・PFD着用などの出前講座や水辺活動時の安全指導及び啓発活動を22回実施した。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和7年9月に十三干潟にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施した。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	淀川本川の高水敷等の利用について、自治体や学校法人が占用する公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催した。委員から、環境学習会の実施について、河川敷や干潟の特性を生かした取り組み、専門家を招いた環境学習、河川レンジャーとの協働の助言・指導が行われた。また桜の木におけるクビアカツヤカミキリの対策について、助言・指導が行われた。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	淀川本川(大阪府域)の不法耕作面積は、令和7年度末時点で約4,002㎡である。通常巡視に加え、職員が個別に現地に対応し、口頭指導、禁止看板の設置等を実施し減少している。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。令和4年度に「淀川河川敷十三エリアかわまちづくり」が登録され、令和5年度には「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり」が新規登録された。令和7年度は、令和6年度に整備した十三地区及び枚方地区において、引き続きかわまちづくりに取組み、水辺のにぎわい創出を図った。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和7年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	令和7年度はバイクの進入があったため、看板の設置で啓発している。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和7年度末時点で34名となっており、令和6年度に増の後減少傾向となっている。今後も定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施していく。
	82			歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	
	83	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	淀川河川敷十三エリアは「淀川河川敷十三エリア魅力向上事業」として民間事業者による工作物の設置に関して占用許可し、利活用の場として民間事業差による整備が行われている。完成予定は令和8年8月頃を予定。摂津市において、鳥飼地区かわまちづくりに向けて、「淀川河川敷の賑わいに関するワークショップ」を2回実施した(9月24日、12月16日)。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施した。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和7年度末時点で、予防保全段階52箇所、措置段階0箇所となっている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	令和7年度は「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、橋梁、樋門等許可工作物117施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が26施設、予防保全段階が7施設あった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和7年度は、川の流れを阻害する樹木について、河川環境に配慮しながら、約1.3万㎡の樹木伐採を実施した。令和6年度から令和7年度の伐採の進捗率は計画の約18%となっている。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	淀川本川において、当面は10.0kmから三川合流点のうち、航路を確保する必要のあるところについて堆積土砂の除去対策を実施しており、令和6年度までに約5.8万m3の掘削を実施することで中型船運航に必要な暫定航路を完成済み。令和7年度は大型船運航に必要な航路確保に向けた設計を実施した。河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施している。令和7年度は約14.1万m3の堆積土砂撤去を実施した。なお、その際、砂利採取規制計画に定める範囲内において、砂利採取を認めている。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努めていく。淀川河川事務所管内では、令和7年度に約330㎡のゴミを処理した。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度点検結果
人と川とのつながり	1		「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	宇治川流域では、平成15年より現在まで継続して実施している京都伏見ジュニア河川レンジャーの取り組みの他、小学校において地域の川を学ぶ総合学習や、地域の防災訓練への出展などを実施した。令和7年度は15回開催となった。 京都伏見ジュニア河川レンジャーでは、「伏見港と伏見の町の模型を見ると、昔は橋がたくさんあったことに気がついた」「三栖閘門は、土木遺産になっていてすごいと思った」等の意見があった。 伏見南浜小学校4年生を対象とした4回連続の地域の川を学ぶ総合学習では、地域の川の歴史を学ぶとともに、まちあるきを行い、マイ防災マップ作りに取り組んだ。初回では「宇治川が氾濫したときのことを考えると怖い」といった意見があったが、ハザードマップ学習やまちあるきでの情報収集、マイ防災マップ作りを経て「京都市の中で危険なところがたくさんあることが知れ、どのように避難するのかがわかりました」「警戒レベルがある事で、避難する時や準備をする時が分かりやすいなと思いました」といった意見があった。 三川合流拠点のさくらであい館を拠点として活用し、三川マルシェの開催や、自然環境にふれ合える水辺の生き物探検隊や、野草教室でのよしぶえ作りを行い、地域の方たちに自然と歴史文化に触れ、体験できるワークショップを実施した。アンケートでは8割以上の参加者が「とても満足」と回答し、「昨年も参加させて頂きました。川遊びをする機会が少なくなっているの、非常によしませてもらってます。(水辺の生き物探検隊)」などの意見があった。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	自治体、地域団体と連携し、広報、ごみ処理、掃除道具の手配、当日の運営、安全管理等を分担して、河川清掃活動等を実施した。そのほかの活動等を含め、延べ35団体(市民団体15、行政関係12、学校関係8)と連携を行った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和7年度は262回(宇治川では22回)、住民等と交流を行った。 小学校と連携した伏見ジュニア河川レンジャーの活動では、三栖閘門資料館を見学した小学生から「伏見港と伏見の町の模型を見ると、昔は橋がたくさんあったことに気がついた」「宇治川が大阪湾につながっていると知った」といった新たな気づきに関する意見や、「ゴミがあまり落ちてなかったのがよかった」「川沿いを歩くのは気持ちいい、水にも触れたい」など河川愛護の醸成が見受けられる意見があった。
	4	日常からの川と人のつながりの構築	子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和7年9月に宇治川・宇治橋下流にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施した。参加者から「宇治川では一番に「きれいだな」と思うほど景色がよかった。川の生物もたくさんいて楽しかった。」との意見があった。 三川合流拠点のさくらであい館を拠点とし、市民団体と協力して、春の野草教室として野草観察や、採集した野草の工作、調理・試食などの自然とふれ合える体験教室を実施した。アンケートでは8割以上の参加者が「非常に満足した」と回答し、「採取したノビル、ヨモギに加えて、京都自然教室で準備したユキソリタ、藤の花も天ぷらで味わい、大変良かった。」などの意見があった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、X)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験等を行った。令和7年度は7回実施した。 宇治市防災訓練等では、浸水地歩行体験ブースの運営により早期避難を促した。参加者からは「少しの水かさでも歩きにくいのがわかった」「この状態で傘をさして避難するのは怖い」「この地域は宇治川に隣接しているので、水害時は垂直避難できる所を見つける」「体験では長靴を履いたが、実際は運動靴で避難すると言うのがわかった」「この地域は昔に浸水被害があったが、こんな感じになるんですね」「泥水の中を歩くのが大変で怖いのがわかった」といった意見があった。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、河道改修状況を踏まえて整備時期を検討していくものとする。令和7年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和7年度は、夏場の利用者の快適性向上を目指し、涼やかハウスの設置や高木の下枝整理によって緑陰の創出を行った。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	さくらであい館を拠点として野鳥観察会や水辺の生き物探検、自然観察会を実施した。 野鳥観察会では参加者から「講師の解説付きの観察会でわかりやすく次回も参加したい」などの意見があった。 自然観察会では、「虫取りをしたことがなかったけど楽しかった」「バッタをたくさん捕まえられた。いろんな種類がいた」といった意見や、ヨシを使ったクラフト体験では、「ヨシ苗の音色が想像していた音と違って驚いた」「ノコギリを使うのが初めてだった。むずかしかったけど、楽しかった」といった意見があった。
	10		破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」の通常版を36箇所に追加設置した(久御山町で6箇所に追加設置。)。これにより、京都府域での設置箇所は通常版が490箇所、高度化が62箇所となった。令和7年度において、京都府域での高度化の設置はなし。
	11	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 令和7年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	水辺空間を活かしたイベントの開催(京の七夕in宇治、Eボート川下り&とっておき体験での天ヶ瀬ダムキャットウォーク&うじがわ川下り体験)参加者より、ダムの上は意外と涼しい、ダムでの放流は滝のように見えて風情がある迫力がある等の感想が得られた。
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	進捗なし	令和5年に工事後5年目のモニタリング調査の最終的な評価・とりまとめを行った。今後の工事でフォローアップ調査を予定している。令和7年度は調査の実績無し。
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	進捗あり	環境省と連携し、アユモドキの域外保全の実施に向けて生育環境の検討を行った。
	17			生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	18	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	京都府やほか関係機関と協同で「アルゼンチンアリ根絶協議会」を設立し、定期的に分布範囲の調査や、効率的な防除対策について検討している。
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	20		良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	宇治川において、令和7年度の不法耕作面積は約1,100㎡となっており、令和6年度新たな耕作地の発見により耕作面積が増となった後、減少傾向となっている。引き続き定期的な現地確認、看板の設置を進める。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川〕	進捗あり	
	22	河川の連続性の確保	河岸・陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川〕	該当なし	
	24		内湾・汽水域・河川、琵琶湖・内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和7年度は実績なし。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和7年に宇治川 宇治橋地点で水質調査(BOD)を実施した。水質調査結果の平均値は0.8mg/Lであり、環境基準A類型（2mg/L）を満足している。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	天ヶ瀬ダムの水質及び底質共に経年的な変化は概ね確認されておらず、引き続き水質、底質調査を実施していく。
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既存ダム、ダム下流）	進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討中。 令和7年度は、令和6年度に実施した天ヶ瀬ダム直下の置砂の効果についてモニタリングを実施している。
	36		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）	該当なし	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環境	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和7年度は、偏流対策工事実施後の希少植物や底生動物の状況把握のためのモニタリング調査を行った。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。 令和7年度に淀川環境委員会に諮った工事件数は21件であった(うち宇治川及び宇治川支川は3件)。工事2件は生態環境面に大きな影響はないとの評価、1件は有識者の助言を受けながら進める工事との評価をいただき、植物・底生動物の保全を行った。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	工事実施時における周辺の生物・植物の環境保全について指導・助言をいただき、移植や生息環境の対策を実施した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和7年度は、京都府が管理する「管内一円(淀大橋)道路メンテナンス(橋修)工事」について、環境委員に現地を確認頂き、環境配慮に対する指導・助言を実施した。指導・助言に基づき、外来種が生えている場所の草刈り等を行って工事を進めた。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。 令和7年度は10月に開催し、若手職員から気候変動を踏まえた取組や、新たな制度を使う先鋭的な取組などの発表があった。これらの発表が職員の育成につながっている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	毎年簡易水質調査を実施している。令和7年度も水生生物による簡易水質調査で水質階級を判定し、経年変化を調査・把握し、データの蓄積を行っている。
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験等を行った。令和7年度は7回実施した。 宇治市防災訓練等では、浸水地歩行体験ブースの運営により早期避難を促した。参加者からは「少しの水かさでも歩きにくいのがわかった」「この状態で傘をさして避難するのは怖い」「この地域は宇治川に隣接しているので、水害時は垂直避難できる所を見つける」「この地域は昔に浸水被害があったが、こんな感じになるんですね」「泥水の中を歩くのが大変で怖いのがわかった」といった意見があった。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	水害に強い地域づくり協議会にて流域タイムラインの共有とWEB会議による情報共有のタイミングについて説明を行った。 台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について情報共有を行うことになっているが、令和7年度は大きい出水がなかったため、実施していない。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和7年度は水害に強い地域づくり協議会にて、市町村への支援として要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け、訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2025淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	「河川防災関連施設全体計画」の全体計画の中で、中核施設として位置づけている「久御山MIZBEステーション」について、久御山町と協議を進めており、令和8年度に登録予定である。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。令和7年度において、久御山町で6箇所に追加設置した。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」の通常版を36箇所に追加設置(久御山町で6箇所に追加設置)した。これにより、京都府域での設置箇所は通常版が490箇所、高度化が62箇所となった。令和7年度において、京都府域での高度化の設置はなし。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置した。 令和7年度は流域プロジェクト2.0の更新内容や取組事例の紹介、芥川特定都市河川の取組状況、防災気象情報の改善について情報共有を行った。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 令和7年度は堤防強化の実績なし。調査は継続している。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	完了	侵食対策は完了済み。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗なし	令和3年8月の整備計画変更により、塔の島地区の河川改修に引き続き、河道掘削等を実施する。令和7年度は河道掘削の実績はなし。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗なし	塔の島地区河川改修が完了したことで、昭和28年台風13号洪水を目標とする流下能力を確保しており、令和3年8月の整備計画変更により、平成25年台風18号洪水を目標とする流下能力の確保に向け、河道掘削等を推進する。 引き続き、整備効果の把握に努める。 令和7年度の整備実績はなし。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	令和7年度の洪水調節実績はなし。 河道掘削等の量的整備を優先して実施している。今後、各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。令和7年度の照査実績はなし。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	天ヶ瀬ダムより上流においては水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和7年度の水利権許可の実績は0件。 天ヶ瀬ダムより下流においては慣行水利権は存在しない。また、私工業用水において更新にあたり取水量の減量申請がなされているところであるが、令和7年度においては許可までに至っていない。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	淀川ダム統合管理事務所にて、ダムの貯水率等をホームページに掲載するとともに、ダムの役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っており、既設ダム群の操作指示を行うことにより効率的な用水補給を実施している。また令和6年度に天ヶ瀬ダムにおいてハイブリッド運用(観光放流、増電)の試行に関する協定を締結し、運用による増電効果を発揮している。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	完了	天ヶ瀬ダム再開発事業は令和4年8月に運用開始済み、京都府営水道の暫定水利権は解消している。 引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和7年度において、琵琶湖水位低下に伴い本局に渇水対策本部、事務所に渇水対策支部を設置した。なお、渇水対策会議等を実施するまでには至らなかった。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	淀川沿川エリアの賑わい創出コンテンツ「淀川舟運」の地域による取組の自走化を目指し、歴史文化の解説を補助するツールを運輸局が整備し、モニターツアーを実施した(11月9日)。 京都府により淀川舟運を万博開催を機に復活させ、観光資源としての魅力を発信するにぎわい創出イベント「淀川舟フェスティバル」が開催された(5月10日、5月11日)。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現状、宇治川では不法係留は見られないが、今後、船舶の航行などの水面利用が見込まれるため、引き続き秩序ある水面利用を促す。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに2箇所の補修を実施した。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和7年9月に宇治川・宇治橋下流にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。参加者からは、「宇治川では一番に「きれいだな」と思うほど景色がよかった。川の生物もたくさんいて楽しかった。」との声があった。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	宇治川の高水敷等の利用について、自治体が占用する公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員から、繁殖力が強い外来植生に対する管理、枯死している可能性がある樹木や不要な支柱の撤去への助言・指導が行われた。桜の木におけるクビアカツヤカミキリの対策について、助言・指導が行われた。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	宇治川において、令和7年度の不法耕作面積は約1,100㎡となっており、令和6年度新たな耕作地の発見により耕作面積が増となった後、減少傾向となっている。引き続き定期的な現地確認、看板の設置を進める。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	令和7年度は宇治地区において、かわまちづくりとして高水敷整正及び坂路を整備し、水辺のにぎわい創出を図った。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和7年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	危険なゴルフの迷惑行為が1箇所で行われていたが、現地での口頭指導及び禁止看板の設置を行った。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	宇治川では定期的に巡回を実施したことにより、ホームレスの人数は令和7年度で1名となっている。

宇治川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
利用	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗なし	塔の島地区では、平成21年度より付近の景観や環境に配慮した河川改修を開始し、平成28年度からは宇治公園でも上面整備を実施しており、令和元年度に完了している。令和3年度には、治水と景観の一体的整備を行ったモデルとして高く評価され、近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めて、グッドデザイン賞を受賞した。引き続き、地域と連携し、歴史文化と調和した河川整備に努めている。 令和7年度は整備実績なし。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	宇治市天ヶ瀬ダム地区では、「宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会」にてかわまちづくり計画を推進している。伏見は令和6年度に親水空間を活用したい事業者と対話を実施し、事業者からの提案や地区の課題等を整理している。久御山町では、4月に「久御山町かわまちづくり協議会」を設立し、協議会を3回実施した。また社会実験として河川空間活用トライアル「KUMIYAMA MIZUBE TRIAL」を3回実施した。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施した。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和7年度末時点で、予防保全段階29箇所、措置段階0箇所となっている。 天ヶ瀬ダムにおいては、点検整備基準に基づく点検とともに、長寿命化計画に基づき、維持修繕・更新を実施している。ゲートについては年点検1回管理運転点検2回を実施した。令和7年度の整備箇所は7箇所であった。 令和7年度末時点で予防保全段階46箇所、措置段階0箇所となっている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	計画堆砂量に対する堆砂率は令和7年度末で約83%となっている。 令和7年度は昨年度に引き続き、これまでに整備した作業構台等の施設を利用し、ダム湖内浚渫を実施した（令和7年度は15,000m3を浚渫）。
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和7年度は橋梁、樋門等許可工作物91施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が37施設、予防保全段階が2施設あった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和7年度は、川の流れを阻害する樹木について、河川環境に配慮しながら、約5千㎡の樹木伐採を実施した。令和6年度から令和7年度の伐採の進捗率は計画の約30%となっている。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	縦横断測量等のモニタリングにより、定期的及び出水後の河床変動状況を把握しながら、必要に応じて河道内堆積土砂の除去を行っている。 令和7年度は堆積土砂撤去を実施していない。引き続きモニタリングを実施していく。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努めていく。淀川河川事務所管内では、令和7年度に約70㎡のゴミを処理した。

桂川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	河川レンジャーでは、延べ247団体（市民団体212、行政関係11、学校関係24）と連携して活動を行った。1月から3月にかけて実施された淀川水系一斉美化アクションでは、桂川流域だけで2000名を超える参加者が一斉清掃に取り組んだ。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	淀川河川公園大山崎地区では、大学生のボランティアサークルや中学生の生物部と連携し、繁茂する竹林の伐採作業や、ワンドでの外来種防除活動を定期的に実施している。地元企業の協力のもと、伐採竹をチップ化して観察路を造成し、ヒメボタルの観察などで自然環境を体感できる場づくりが継続されている。継続的な参加者から「伐採したクロチクの活用について考えていきたい」「桂川の増水により、大きな樹木が流され、土砂が流入したことに驚いた」等の意見があった。 桂川・嵐山地区において、鳴く虫を活かした地域・人づくりの取組みに向け、一般市民を対象とした「桂川・嵐山地区虫の音ガイドツアー」の実施や、地域や企業の方々との意見交換会を実施した。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数（治水・環境・防災などの拡大）と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和7年度で262回（桂川では37回）、住民等と交流を行った。 桂川出張所管内では、松尾橋上流部で複数回行った自然観察会においては「いろいろな生き物を知れて楽しかったので、また参加したいです」「美化活動にも参加したい」「水晶もコノドント化石もみつけられてうれしかった」「もっといろいろな石を調べたい！探したい！」等の意見があった。 淀川水系一斉美化アクションの一環で実施された「桂川流域クリーン大作戦」では、「以前よりゴミが減ってきている」「ゴミは少ないといわれたけどたくさん拾えた」「竹林などの目につかない奥に、タイヤや廃棄物などが投棄されていた」等の意見があった。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和7年9月に桂川・渡月橋にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。参加者からは、感覚的に「きっと綺麗だろう」という水質をバックテスト等で客観的に評価することができたのは、貴重な経験となったとの声があった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報（工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど）をホームページやSNS（Youtube、Facebook、X）で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	桂川出張所管内では、自然観察会を松尾橋上流部にて複数回行った。参加者からは「いろいろな生き物を知れて楽しかったので、また参加したい。」「美化活動にも参加したい。」「水晶もコノドント化石もみつけられてうれしかった。」「もっといろいろな石を調べたり探したい。」「と好評だった。 淀川水系一斉美化アクションの一環で実施された「桂川流域クリーン大作戦」では、「以前よりゴミが減ってきている。」「ゴミをたくさん拾えた。」「竹林などの目につかない奥に、タイヤや廃棄物などが投棄されていた。」等の意見があった。
	7		小径（散策路）、「歴史文化の薫る散歩道（仮称）」の整備	小径（散策路）の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、河道改修状況を踏まえて整備時期を検討していくものとする。令和7年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	淀川河川公園大山崎地区において、公園利用者の安心・快適な公園利用を図るため、野球グラウンドの補修を行った。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	さくらであい館を拠点として野鳥観察会や水辺の生き物探検、自然観察会を実施した。 野鳥観察会では参加者から「講師の解説付きの観察会でわかりやすく次回も参加したい」などの意見があった。 自然観察では、「虫取りをしたことがなかったけど楽しかった」「バッタをたくさん捕まえられた。いろんな種類がいた」といった意見や、ヨシを使ったクラフト体験では、「ヨシ笛の音色が想像していた音と違って驚いた」「ノコギリを使うのが初めてだった。むずかしかったけど、楽しかった」といった意見があった。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごととハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるとまちごととハザードマップ」の通常版を36箇所に追加設置した。これにより、京都府域での設置箇所は通常版が490箇所、高度化が62箇所となった。令和7年度において、京都府域での高度化の設置はなし。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会（水害に強い地域づくり協議会）を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 令和7年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	毎年度定期的に水源地域ビジョン連絡会を開催することにより、関係機関との連携を強化している。 日吉ダム（インフォギャラリー）見学者やダム下流のスプリングスひよしへの来館者は、新型コロナウイルス以前と同程度まで回復しており、引き続き、ダム見学会等を通じて、上下流域の連携に取り組む。
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域（湛水区間）、下流域（流水区間）〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域（盆地～源流部）木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組		関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和4年度末に「鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会」が設立された。 令和7年度は協議会、地元意見交換会、生息環境づくりWG、地域・人づくりWGを開催した。
	18	外来種対策の実施		外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和7年度は、河川環境に影響を及ぼす外来水草について、その生態状況を把握し、環境改善に資する基礎資料の収集及び外来水草の駆除計画の検討を行った。
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川、上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	

桂川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
環 境	20	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	該当なし	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域（山間部）宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川〕	該当なし	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	令和7年度は、桂川の3号5号井堰の魚道等の機能向上を目的とした物理環境調査等の計画検討を行った。調査の実施は令和8年度を予定。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域（山間部）木津川、上流域（山間部）名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	桂川 渡月橋地点で水質調査(BOD)を実施した。水質調査結果の平均値は0.6mg/Lであり、環境基準A類型(2mg/L)を満足している。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既存ダム、ダム下流）	該当なし	
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）	該当なし	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和7年度は大山崎地区で、伐木工事後の樹木の確認のためコドラートを設定（調査区画）し、樹木の生育状況等のフォローアップ調査を行った。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和7年度に淀川環境委員会に諮った工事案件数は21件であった。（うち桂川は6件）工事では、魚類の生息環境への配慮として護床工の流水部に石材を配置するとともに、濁水対策を実施した。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和7年度もスクリーニング会議において、淀川環境委員会からの指導・助言を受け、景観や環境に配慮した工事を行い、関係機関と連携して河川環境の保全・再生を図った。工事では、魚類の生息環境への配慮として護床工の流水部に石材を配置するとともに、濁水対策を実施した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	河川管理者以外の者が管理する施設について、淀川環境委員に現地を確認頂き、希少種の保全方法に対して、種子採取前に播種先の環境を整備するよう指導・助言をいただいた。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。令和7年度は10月に開催し、若手職員から気候変動を踏まえた取組や、新たな制度を使う先鋭的な取組などを発表があった。これらの発表が職員の育成につながっている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	毎年簡易水質調査を実施している。令和7年度も水生生物による簡易水質調査で水質階級を判定し、経年変化を調査・把握し、データの蓄積を行っている。令和7年度の結果は4地点のうち1地点「きれいな水」、3地点が「ややきれいな水」であった。

桂川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーが自治体、自治会、学校等と連携し、出前授業でマイ・タイムライン作成指導や浸水地歩行体験キットを使用した早期避難を促す活動を行った。 マイ・タイムライン作成指導では、「地域で起きた水害を知る」パートを設け、地域の自主防災会の方から子どもたちに過去の浸水体験等について説明を行った。「4.8メートルぐらいしんすいするのにびっくりした」「他の人の命もだいじやけど、自分のいのちをゆうせんする」「浸水するまえにひなん・にげることを意識する」「ひなん所で声かけをしたり、助け合いをする」といった意見があった。 浸水地歩行体験では、「歩きにくかった」「子どもたちにもわかりやすい体験だった」といった意見があった。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	水害に強い地域づくり協議会にて流域タイムラインの共有とWEB会議による情報共有のタイミングについて説明を行った。 台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について情報共有を行うことになっているが、令和7年度は大きい出水がなかったため、実施していない。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和7年度は水害に強い地域づくり協議会にて、市町村への支援として要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2025淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。 令和7年度は引き続き全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。 令和7年度は桂川流域においては、設置の実績はなし。引き続き設置の検討を進めていく。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」の通常版を36箇所に追加設置した。これにより、京都府域での設置箇所は通常版が490箇所、高度化が62箇所となった。令和7年度において、京都府域での高度化の設置はなし。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。 令和7年度は流域プロジェクト2.0の更新内容や取組事例の紹介、芥川特定都市河川の取組状況、防災気象情報の改善について情報共有を行った。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 令和7年度は堤防強化の実績なし。調査は継続している。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の河道掘削等の進捗を踏まえ、整備予定である。令和7年度は実績なし。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和3年度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成した。これにより上流の亀岡市域の霞堤嵩上げ等の整備が推進している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和3年8月の整備計画変更により、平成25年台風18号洪水を目標とする流下能力の確保に向け、令和7年度は桂川下流における河道掘削や大下津地区の旧堤撤去等を実施した。引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防（スーパー堤防）の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	令和7年度は日吉ダムで洪水調節を1回行い、ダム下流河川水位の低減に貢献した。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	

桂川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果		
治水・ 防災	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	河道掘削等の量的整備を優先して実施している。今後、各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。令和7年度は照査の実績なし。		
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了			
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし			
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし			
	67			陸開の確実な操作のための取組	該当なし			
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	令和7年度において、一の井堰の改修に伴う慣行水利権の許可化の実施が検討されたが、改修時期が先送りとなったため、許可化については実施していない。嵐山小水力発電所については用途廃止した。		
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。		
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	該当なし			
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化（利水者会議）の実現に向けた内容	該当なし	令和7年度は、日吉ダム渇水が発生しなかったため、渇水対策会議は開催しなかった。		
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組（水面利用）	舟運の取り組み内容	該当なし			
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	令和7年度現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。		
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	令和7年度は安全利用点検結果をもとに1箇所の補修を実施した。		
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用（環境教育等）の実施内容	進捗あり	令和7年9月に桂川・渡月橋にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。		
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組（川らしい河川敷利用）	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	桂川の高水敷利用について、自治体が占用する公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員から、草や樹木について、一律に刈り取るのではなく、樹木の実生を育てていく管理、草の刈り残しによる環境との接続への助言・指導が行われた。京都府・桂川運動公園の管理におけるNPO団体や地元クラブとの横断的な取り組みが評価された。		
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度以降は約2.9万㎡で推移している。不法占用地における工作物に対しては、現地にて行為者への是正指導を粘り強く行った。		
	78		憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。令和7年度は、沿川市町からかわまちづくり計画策定に関する相談があり、説明を行った。	
	79	小径（散策路）の利便性向上の取組内容			進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和7年度での整備実績はなし。		
	80	迷惑行為の是正内容・対策箇所数			進捗あり	桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっているため、引き続きチラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を継続しており、ゴミの発生量は減少傾向にある。		
	81				ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和7年度時点での起居者はなし。	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	令和3年度に嵐山地区の左岸溢水対策が完成した。引き続き「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」についても、景観や利用を踏まえた堰のゲート形式、その操作方法等について検討委員会や地元連絡・検討会を開催し、学識経験者および有識者や地元からの助言等を踏まえ、検討を進めている。		
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	令和7年度は沿川市町からのかわまちづくり等に対する相談に対して、制度説明等による支援を行っている。		

桂川進捗点検結果（令和7年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和7年度進捗	令和7年度 点検結果
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和7年度は堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施した。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和7年度末時点で、予防保全段階49箇所、措置段階0箇所となっている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	日吉ダムは、管理開始から28年が経過しており、計画堆砂量8,000千㎡のうち、令和7年度末における堆砂量は約2,840千㎡であり、堆砂率は約35%となっている。 令和7年度はダム上流部において約3千㎡の堆砂除去を実施した。
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	令和7年度は「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、橋梁、樋門等許可工作物57施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が15施設、予防保全段階が9施設確認された。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和7年度は、川の流れを阻害する樹木を河川環境に配慮しながら、約1.8万㎡伐採した。令和6年度から令和7年度の伐採の進捗率は計画の約11%となっている。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	縦横断測量等のモニタリングにより、定期的及び出水後の河床変動状況を把握しながら、必要に応じて河道内堆積土砂の除去を行う。 令和7年度は堆積土砂撤去を実施していない。引き続きモニタリングを実施していく。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努めていく。 令和7年度に淀川河川事務所管内では、約105㎡のゴミを処理した。